第59期 決算データ分析資料

令和3年(2021)12月期 第2四半期

令和3年（2021）6月15日
産学連携及び資本業務提携についての合同記者発表開催

左より名古屋大学松尾総長様、（株）シナモン平野社長様、トラスコ中山（株）社長中山、GROUND（株）宮田社長様

約20社のメディア関連企業様にご来社いただき、日本経済新聞社様をはじめ様々な媒体に取り上げられました。

トラスコ中山株式会社

令和3年（2021）8月6日発表

経営企画部　部長　下津　敦嗣
経営企画・広報IR課　課長　高田　真由美
経営企画・広報IR課　平野　みのり
経営企画・広報IR課　髙橋　実花
〒105-0004
東京都港区新橋四丁目28番1号
トラスコ　フィオリートビル10F
TEL：03-3433-9840　FAX：03-3433-9881
E-mail： info@trusco.co.jp

ー　資料目次　ー

第59期　令和3年（2021）12月期第2四半期

■はじめに
P3　業績予想の上方修正について
P4　会社概要

A■全社経営実績
P5　①【連結】令和3年（2021）12月期第2四半期　経営成績
P6　②【親単体】令和3年（2021）12月期第2四半期　経営成績
P7　③令和3年（2021）12月期 第2四半期
【連結】全社月次売上高／【親単体】1日当たり売上高

B■販売実績
P8　①【連結】販売セグメント別売上高・売上総利益率・経常利益
P9　②【連結】販売セグメント別月次売上高推移表
P10 ③【連結】ファクトリールート ブロック別・業種別・販売ルート別実績
P11 ④【連結】eビジネスルート売上高
P12 ⑤【連結】オレンジコマース（電子購買）連携数
P13 ⑥【連結】ホームセンタールート売上高　上位10社実績
P14 ⑦海外子会社の経営成績
P15 ⑧【親単体】令和3年（2021）12月期第2四半期　売上分析
P16 ⑨【親単体】令和3年（2021）12月期第2四半期　商品別売上分析
（大分類・中分類）
P17 ⑩【親単体】令和3年（2021）12月期第2四半期　商品別売上分析
（小分類）
P18 ⑪【親単体】令和3年（2021）12月期第2四半期
トラスコ オレンジブック掲載カテゴリ別実績
P19 ⑫【親単体】令和3年（2021）12月期第2四半期
プライベート・ブランド(PB)商品　売上高実績

C■経営指標の取組み状況
P20 ①仕入先数及び新規掲載商品売上高／
在庫アイテム数及びヒット率／販売口座数及び法人数
P21 ②【親単体】物流データ
③【親単体】システム稼働状況

D■財務等実績
P22 ①【連結】令和3年（2021）12月期第2四半期販売費・一般管理費の
主な増減内容
P23 ②【連結】令和3年（2021）12月期第2四半期販売費・一般管理費
P24 ③【連結】令和3年（2021）12月期第2四半期財務諸表
P25 ④【連結】令和3年（2021）12月期第2四半期設備投資等の状況

E■今期の計画
P26 ①今期の計画
P27 ② 第59期 主な設備投資・トピックス

■参考資料■
P28 ①株式情報
P29 ②業界での指数比較
P30 ③【連結】 令和3年（2021）12月期第2四半期　四半期毎の実績（四半期）
P31 ④【連結】 令和3年（2021）12月期第2四半期　四半期毎の実績（累計）
P32 ⑤会社データ
P33 ⑥当社売上高指数・鉱工業生産指数
P34 ⑦令和3年（2021）12月期　第2四半期トピックス（1）
P35 ⑧令和3年（2021）12月期　第2四半期トピックス（2）

本資料には、将来の業績見通しおよび事業計画に関する記述が含まれています。
こうした記述は、将来の業績を保証するものではなく、リスクや不確実性を内包するものです。
将来の業績は、経営環境の変化等により、計画数値と異なる可能性があることにご留意ください。
また、本資料は情報の提供のみを目的としており、当社は現時点での最新情報に更新する義務を負っていません。

©2021 TRUSCO NAKAYAMA CORPORATION All Rights Reserved

業績予想の上方修正について（令和3年3月15日発表）

当社は2月12日決算発表時に第59期予算を開示いたしました。予算策定時はコロナの状況が不透明であり、やや控えめな予算でしたが、市況の回復が見られたため、令和3年3月15日に通期予算の上方修正を行いました。（連結予算2,205億円⇒2,275億円へ修正）

▮今回修正予算（第59期　令和3年（2021）12月期）

	前回発表予想 （令和3年2月12日発表）	今回修正予想 （令和3年3月15日発表）	前回予想比	前年比
売上高	2,205億20百万円	**2,275億20百万円**	+3.2%	**+6.6%**
営業利益	124億70百万円	**131億70百万円**	+5.6%	**+19.5%**
経常利益	128億80百万円	**138億20百万円**	+7.3%	**+19.6%**
親会社株主に帰属する当期純利益	88億70百万円	**95億20百万円**	+7.3%	**+18.9%**
1株当たり当期純利益	134 円51 銭	**144 円37 銭**	+9円86銭	**+22円94銭**

©2021 TRUSCO NAKAYAMA CORPORATION All Rights Reserved

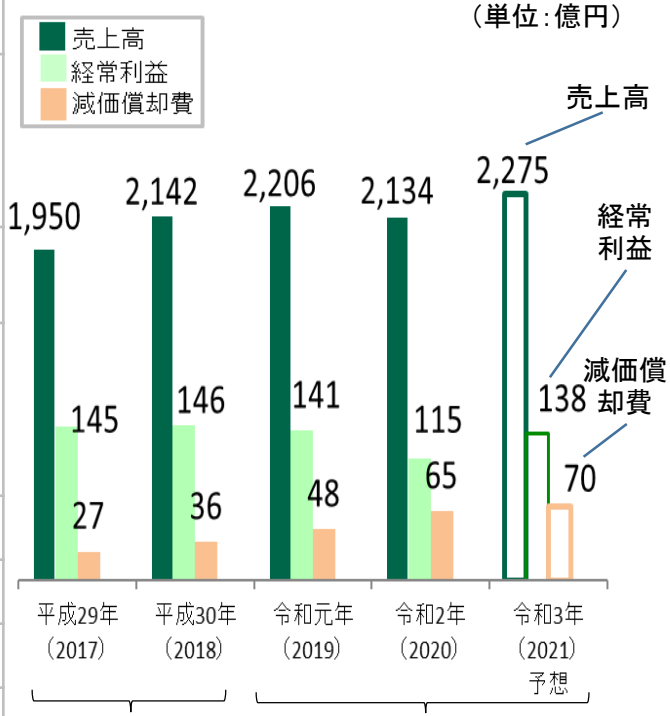
会社概要

令和3年（2021）6月末現在

創業	昭和34年（1959）5月15日
代表者	代表取締役社長　中山　哲也 公益財団法人　中山視覚障害者福祉財団　理事長 全日本機械工具商連合会　副会長 大阪機械器具卸商協同組合 理事長
本社事務所	東京本社（東京都港区・本店登記） 大阪本社（大阪市西区）
拠点数	計92か所 国内90か所：本社2か所、支店61か所、物流センター26か所 海外3か所　：現地法人：タイ、インドネシア 駐在所：ドイツ（デュッセルドルフ）
資本金	50億2,237万円
証券取引所	東証一部（証券コード：9830）
従業員数	2,885名（役員11名、社員1,670名、パート1,204名）【連結】
格付状況	A　（株式会社格付投資情報センター）
事業内容	機械工具、物流機器、環境安全用品をはじめとしたプロツール（工場用副資材）の卸売業及び自社ブランドTRUSCOの企画開発

➢売上高・経常利益・減価償却費の推移

（単位：億円）



＊積極的な物流・デジタル投資により、減価償却費が増加。

ビジネスフロー

（　）前年同期比

仕入先様

メーカー
2,821社
（+224社）
内、海外メーカー
247社（＋39社）

当社　（卸売業）

- ファクトリールート
- eビジネスルート
- ホームセンタールート
- 海外ルート

主な販売店様　5,500社（P19参照）

- 機械工具商・溶接材料商・管材商・伝導機商・電材商・梱包資材商など
- ネット通販企業など
- ホームセンター・プロショップ・家電量販店　など
- 海外ディーラーなど

ターゲット市場（主なユーザー様）

- 製造業・建設関連業
- 製造業・一般消費者
- 屋外作業関連・一般消費者
- 海外製造業

©2021 TRUSCO NAKAYAMA CORPORATION All Rights Reserved

A-①　【連結】令和3年（2021）12月期第2四半期　経営成績

・連結の売上高　：前年比+5.1%、予算比は△0.2%。営業日数120日（前年同期比＋1）。※営業日数は親単体の営業日数
・連結の売上総利益率　：21.6%　前年同期比△0.4pt
　⇒昨年、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、需要が高まったマスクなどの高粗利商品の売上が一服しました。
・販管費：昨年の基幹システムリニューアルにかかる初期対応費用の減少で支払手数料、株主優待廃止による広告宣伝費の減少などにより、
前年同期比△1.8%となりました。
（販管費詳細はP.22～23参照）

	令和2年（2020）12月期 第2四半期		令和3年（2021）12月期 第2四半期						
	実績	構成比	実績	構成比	前年同期比	予算	構成比	予算差額	予算比
売上高	1,084億13百万円	－	1,138億88百万円	－	＋ 5.1%	1,140億70百万円	－	△1億81百万円	△0.2%
売上総利益	238億94百万円	22.0%	246億43百万円	21.6%	＋ 3.1%	249億90百万円	21.9%	△3億46百万円	△1.4%
販売費及び一般管理費	177億33百万円	16.4%	174億17百万円	15.3%	△ 1.8%	177億10百万円	15.5%	△2億92百万円	△1.7%
（うち減価償却費）	29億62百万円	2.7%	34億16百万円	3.0%	＋ 15.3%	34億42百万円	3.0%	△25百万円	△0.8%
営業利益	61億61百万円	5.7%	72億25百万円	6.3%	＋ 17.3%	72億80百万円	6.4%	△54百万円	△0.7%
経常利益	64億00百万円	5.9%	76億91百万円	6.8%	＋ 20.2%	77億50百万円	6.8%	△58百万円	△0.8%
親会社株主に帰属する四半期純利益	43億33百万円	4.0%	52億37百万円	4.6%	＋ 20.8%	53億40百万円	4.7%	△1億02百万円	△1.9%
1株当たり四半期純利益	65円72銭	―	79円42銭	―	＋13円70銭	80円98銭	―	△1円56銭	―
1株当たり配当金	16円50銭	―	20円00銭	―	＋3円50銭	20円50銭	―	△50銭	―

©2021 TRUSCO NAKAYAMA CORPORATION All Rights Reserved

A-② 【親単体】令和3年(2021)12月期第2四半期 経営成績

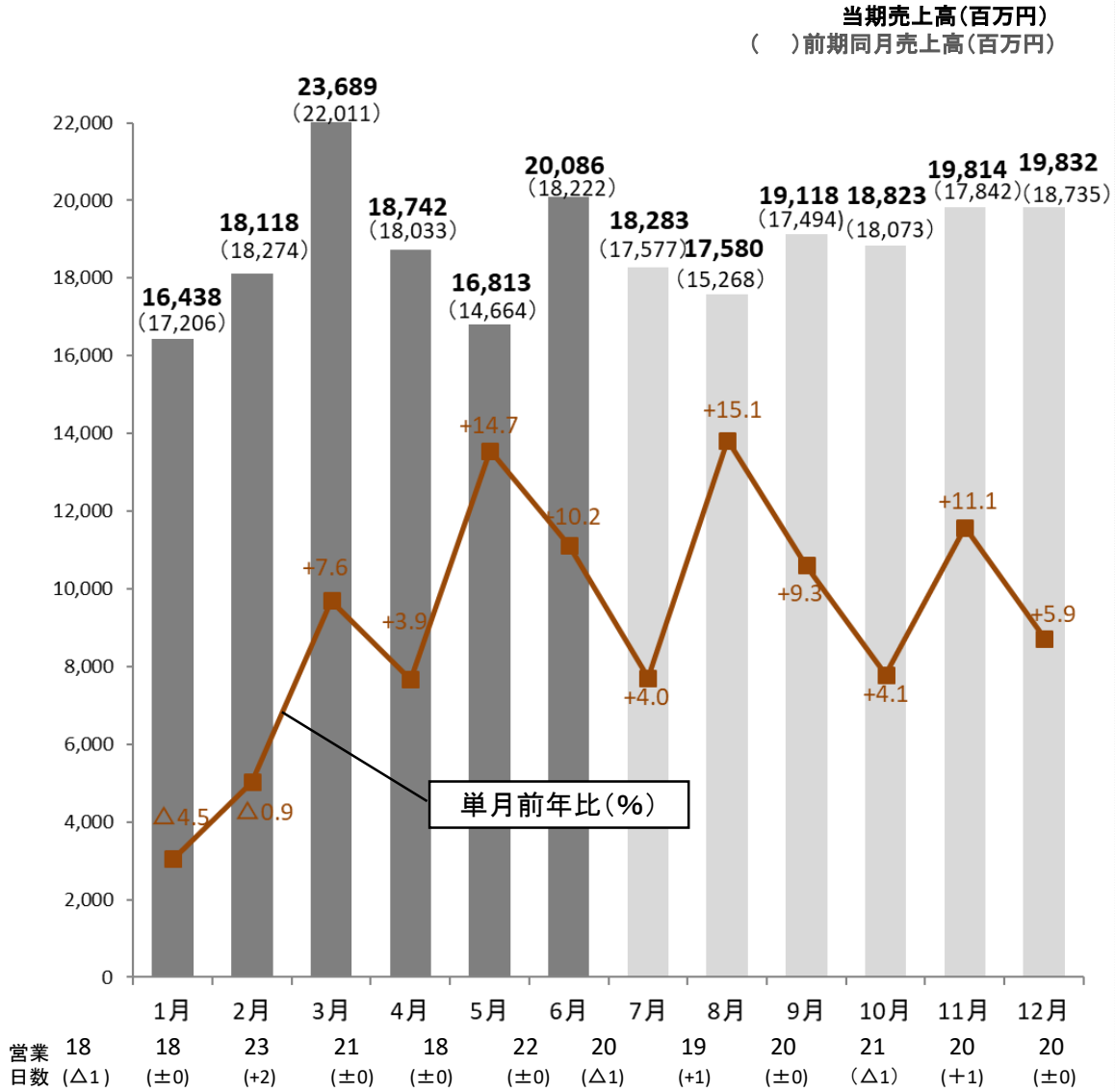
	令和2年(2020)12月期 第2四半期		令和3年(2021)12月期 第2四半期						
	実績	構成比(%)	実績	構成比(%)	前年同期比(%)	予算額	予算構成比(%)	予算差額	予算比(%)
売上高	1,083億67百万円	ー	1,136億94百万円	ー	+4.9	1,138億29百万円	ー	△1億35百万円	△0.1
売上総利益	238億19百万円	22.0	245億19百万円	21.6	+2.9	248億76百万円	21.9	△3億57百万円	△1.4
販売費及び一般管理費	175億91百万円	16.2	172億78百万円	15.2	△1.8	175億68百万円	15.4	△2億89百万円	△1.6
(うち減価償却費)	29億26百万円	2.7	33億81百万円	3.0	+15.6	34億42百万円	3.0	△60百万円	△1.8
営業利益	62億28百万円	5.7	72億40百万円	6.4	+16.3	73億08百万円	6.4	△67百万円	△0.9
経常利益	64億54百万円	6.0	77億11百万円	6.8	+19.5	77億71百万円	6.8	△60百万円	△0.8
四半期純利益	43億82百万円	4.0	52億58百万円	4.6	+20.0	53億62百万円	4.7	△1億03百万円	△1.9
PB売上高	215億61百万円	19.9	220億80百万円	19.4	+2.4	223億93百万円	19.7	△3億13百万円	△1.4
1株当たり四半期純利益	66円46銭	ー	79円75銭	ー	＋13円29銭	81円31銭	ー	△1円56銭	ー

©2021 TRUSCO NAKAYAMA CORPORATION All Rights Reserved

A-③令和3年（2021）12月期第2四半期 【連結】全社月次売上高/【親単体】1日当たり売上高

▮【連結】全社合計

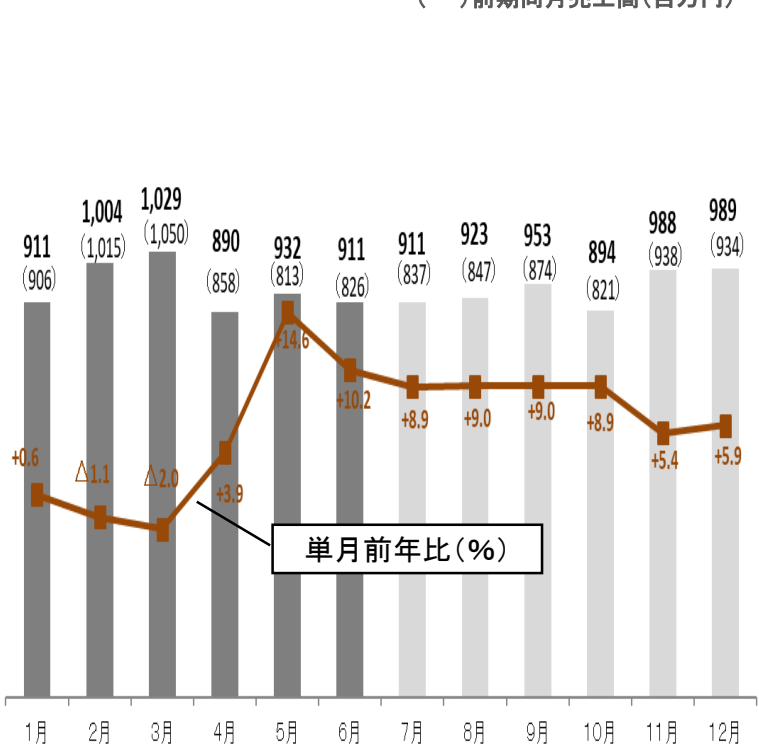
※1-6月は実績、7月以降は予算額で表記しています。



▮【親単体】全社１日当たり平均売上高推移

※1-6月は実績、7月以降は予算額で表記しています。

製造現場で使用されている消耗品は日々コンスタントに注文されるため、当社は1日当たりの売上高で前年との比較を行っております。
また、多くの企業の決算月である3月は売上高が大きい繁忙期となっています。



©2021 TRUSCO NAKAYAMA CORPORATION All Rights Reserved

B-①　【連結】販売セグメント別売上高・売上総利益率・経常利益

▮販売セグメント別　連結売上高

	令和2年(2020)12月期第2四半期				令和3年(2021)12月期第2四半期										
	売上高		売上総利益率	経常利益	売上高							売上総利益率		経常利益	
販売ルート	実績	構成比	実績	実績	実績	構成比	前年増加額	前年同期比	予算	予算増額	予算比	実績	前年同期比	実績	前年同期比
ファクトリールート	801億66百万円	74.0%	21.6%	45億62百万円	818億53百万円	71.9%	+16億86百万円	+2.1%	828億57百万円	△10億04百万円	△1.2%	21.2%	△0.4pt	52億42百万円	+14.9%
eビジネスルート	194億24百万円	17.9%	25.5%	16億65百万円	222億33百万円	19.5%	+28億08百万円	+14.5%	216億12百万円	+6億20百万円	+2.9%	24.2%	△1.3pt	18億54百万円	+11.3%
ホームセンタールート	81億67百万円	7.5%	17.9%	80百万円	89億78百万円	7.9%	+8億10百万円	+9.9%	87億85百万円	+1億92百万円	+2.2%	17.9%	±0.0pt	2億46百万円	+206.3%
海外ルート	6億53百万円	0.6%	30.2%	△1億32百万円	8億23百万円	0.7%	+1億69百万円	+25.9%	8億13百万円	+9百万円	+1.2%	32.6%	+2.4pt	△12百万円	-
全社合計	1,084億13百万円	100%	22.0%	64億00百万円	1,138億88百万円	100%	+54億75百万円	+5.1%	1,140億70百万円	△1億81百万円	△0.2%	21.6%	△0.4pt	76億91百万円	+20.2%

▮ファクトリールート前年同期比：＋2.1%

生産工場の稼働や設備投資が回復傾向にあり、工場稼働に係る作業用品やハンドツールの売上高増により業績は堅調に推移しました。（10ページ参照）

▮eビジネスルート前年同期比：+14.5%

内訳は、通販企業様向けが前年比+14.5%、電子購買連携企業様向けが前年比+14.2%です。得意先様のニーズに合わせた梱包形態に対応し、対象商品のアイテム数増加などの独自の物流サービス強化により通販企業様とのお取引が拡大しました。（11.12ページ参照）

▮ホームセンタールート前年同期比：+9.9%

ホームセンター、プロショップを中心に売場提案を継続しました。当社の47万アイテムに及ぶ在庫を活用した店頭での受け取りサービスや当社プライベート・ブランド商品の積極的な提案や帳合獲得などが売上高増に寄与し、業績は好調に推移しました。（13ページ参照）

▮海外ルート前年同期比：+25.9%

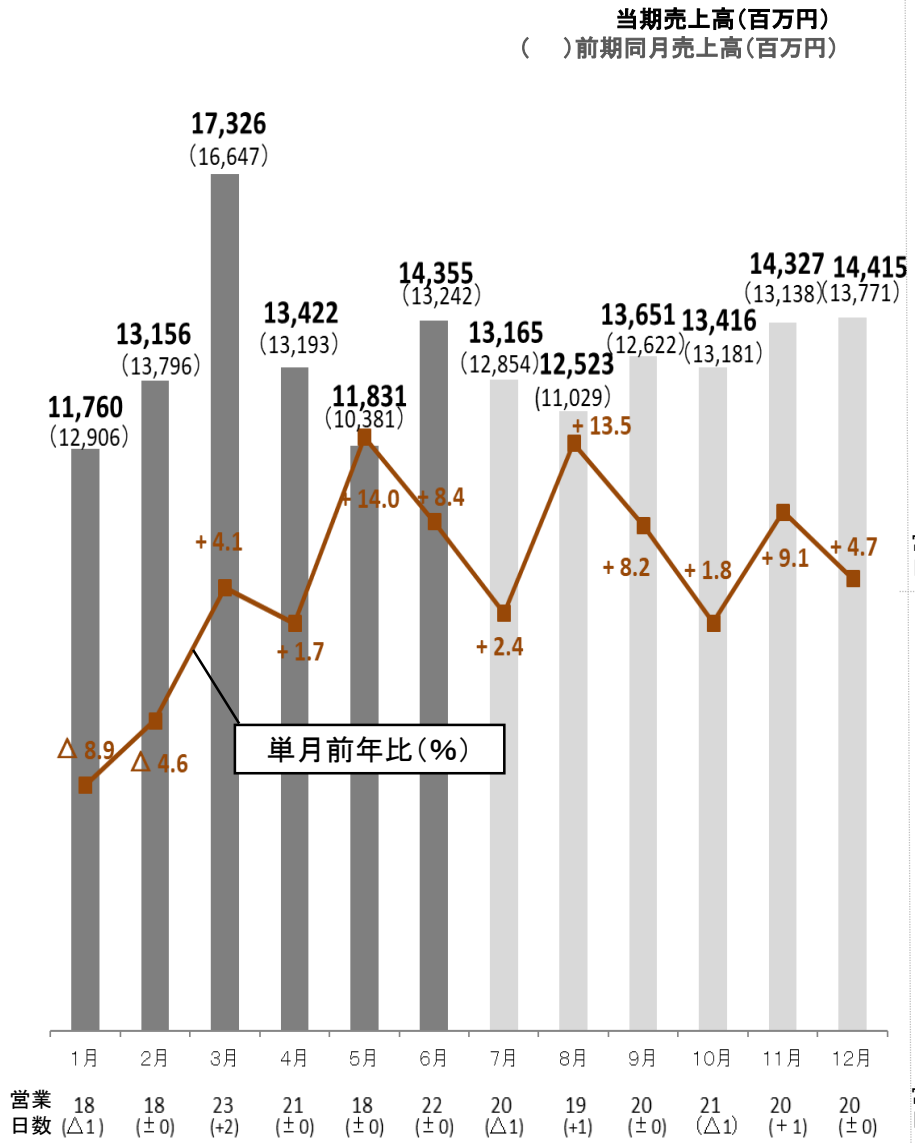
新型コロナウイルス感染症拡大により、社会活動が制限される中、課題解決による既存得意先様との取引拡大が絶対的課題であり、営業力の強化が急務であると考えております。（14ページ参照）

©2021 TRUSCO NAKAYAMA CORPORATION All Rights Reserved

B-② 【連結】販売セグメント別月次売上高推移表

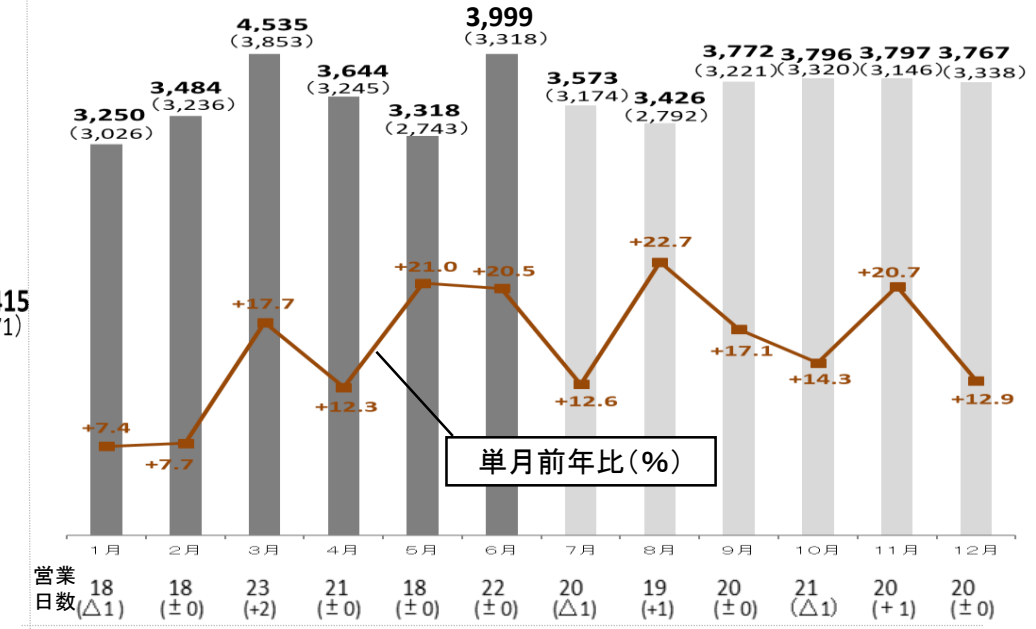
▌ファクトリールート月次売上高推移表

※1-6月は実績、7月以降は予算額で表記しています。



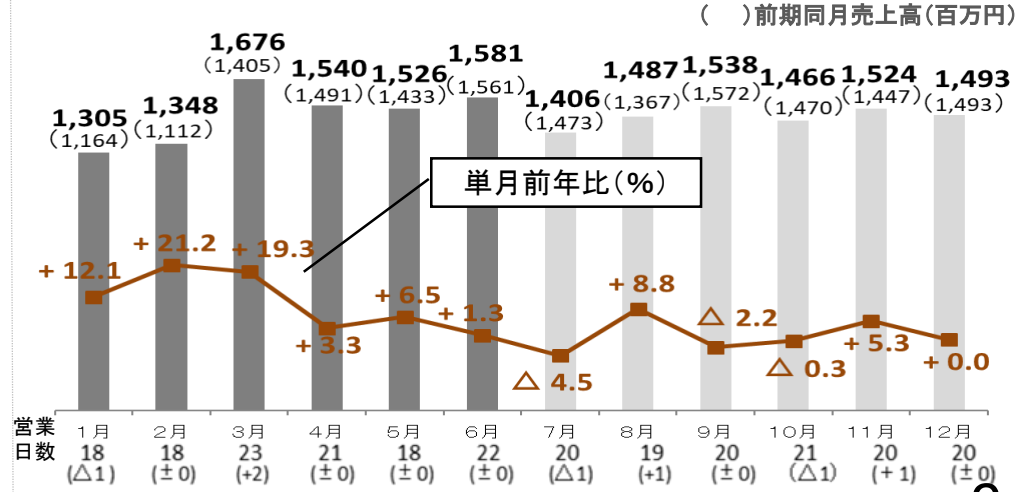
▌eビジネスルート月次売上高推移表

※1-6月は実績、7月以降は予算額で表記しています。



▌ホームセンタールート月次売上高推移表

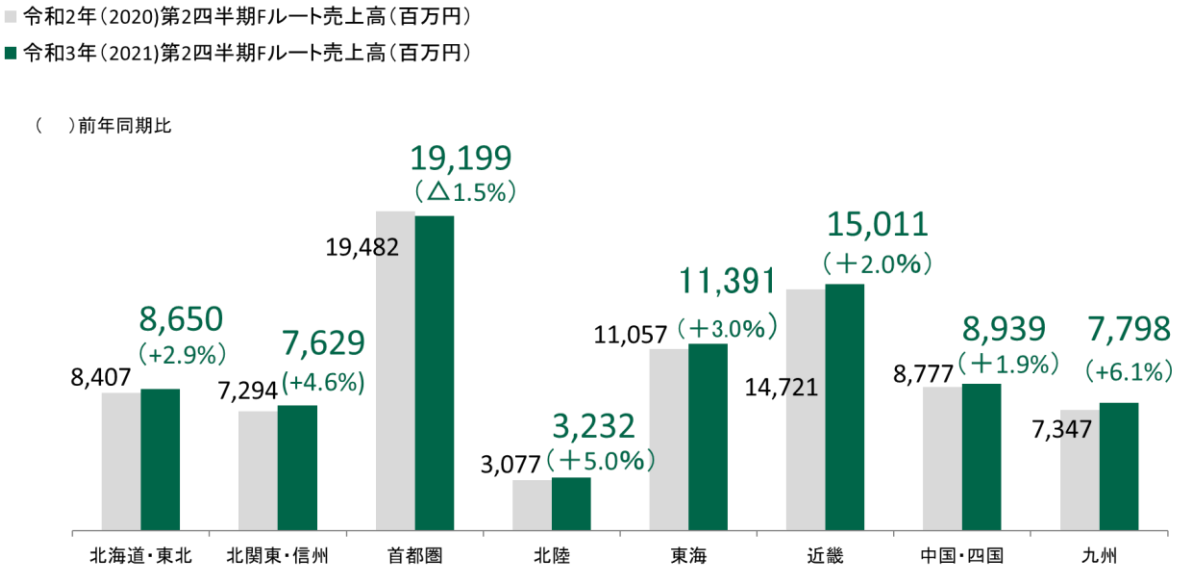
※1-6月は実績、7月以降は予算額で表記しています。



©2021 TRUSCO NAKAYAMA CORPORATION All Rights Reserved

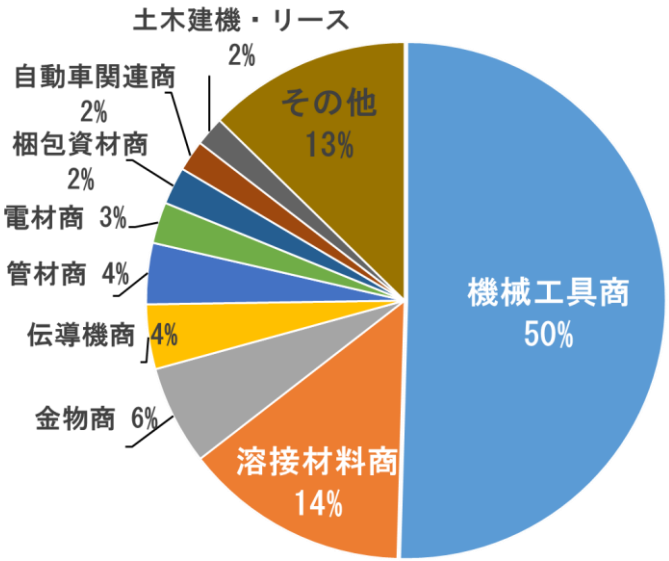
B-③ 【連結】ファクトリールート ブロック別・業種別・販売ルート別実績

▮ファクトリールート ブロック別売上高



▮ファクトリールート業種別売上高構成比

令和3年(2021)12月期 第2四半期



▮ファクトリールート販売ルート別売上高

販売ルート	令和2年(2020)12月期 第2四半期			令和3年(2021)12月期 第2四半期					
	売上高		売上総利益率	売上高				売上総利益率	
	実績	構成比	実績	実績	構成比	前年同期比	予算比	実績	前年同期比
機械工具商	403億12百万円	50.3%	21.4%	413億22百万円	50.5%	+2.5%	△0.2%	21.1%	△0.3pt
溶接材料商	117億36百万円	14.6%	21.9%	115億19百万円	14.1%	△1.8%	△4.8%	21.7%	△0.2pt
その他製造業関連 (理化学・伝導機・梱包材商など)	130億59百万円	16.3%	21.3%	136億55百万円	16.7%	+4.6%	+0.4%	20.8%	△0.5pt
建設関連 (金物商、管材商、電材商、土木、リースなど)	150億58百万円	18.8%	22.1%	153億54百万円	18.7%	+2.0%	△2.5%	21.7%	△0.4pt
ファクトリールート合計	801億66百万円	100.0%	21.6%	818億53百万円	100%	+2.1%	△1.2%	21.2%	△0.4pt

©2021 TRUSCO NAKAYAMA CORPORATION All Rights Reserved

B-④ 【連結】eビジネスルート売上高

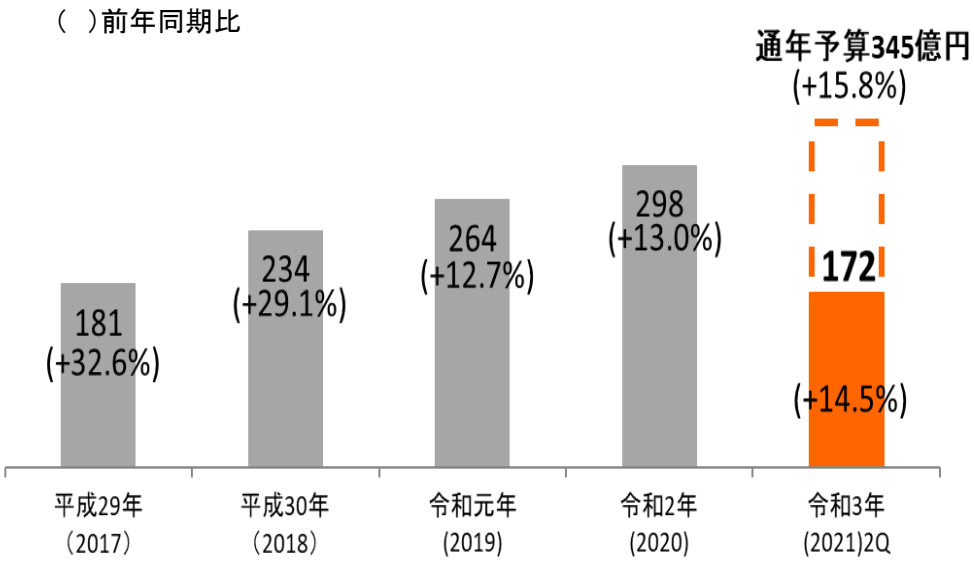
▮eビジネスルート販売ルート別売上高

販売ルート	令和2年(2020)12月期 第2四半期			令和3年(2021)12月期 第2四半期				
	売上高		売上総利益率	売上高			売上総利益率	
	実績	構成比	実績	実績	構成比	前年比	実績	前年比
通販企業向け	150億91百万円	13.9%	24.8%	172億84百万円	15.2%	+14.5%	23.2%	Δ1.2pt
オレンジコマース(電子購買)連携企業向け	43億32百万円	4.0%	28.0%	49億49百万円	4.3%	+14.2%	27.6%	Δ0.4pt
eビジネスルート合計	194億24百万円	17.9%	25.5%	222億33百万円	19.5%	+14.5%	24.2%	Δ1.3pt

▮プロツール限定解除について

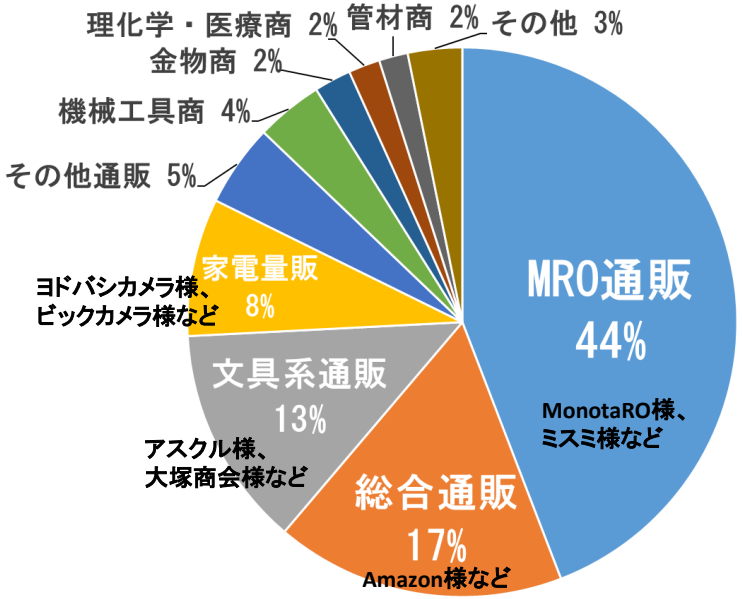
これまで当社は、機械工具卸の本流であるプロツールに特化した商品の取扱いを強化してまいりました。近年ネット通販企業様との取組が進行している中、通販企業様のエンドユーザー様は主に一般消費者であり、調達の利便性向上のため、特定の分野ではなく幅広い商品を供給する必要があると判断し、プロツールの限定解除を行いました。
やみくもに解除するわけではなく、既存の仕入先様の中で取扱のない商品群から解除をスタートしました。

▮通販企業向け売上高（億円）



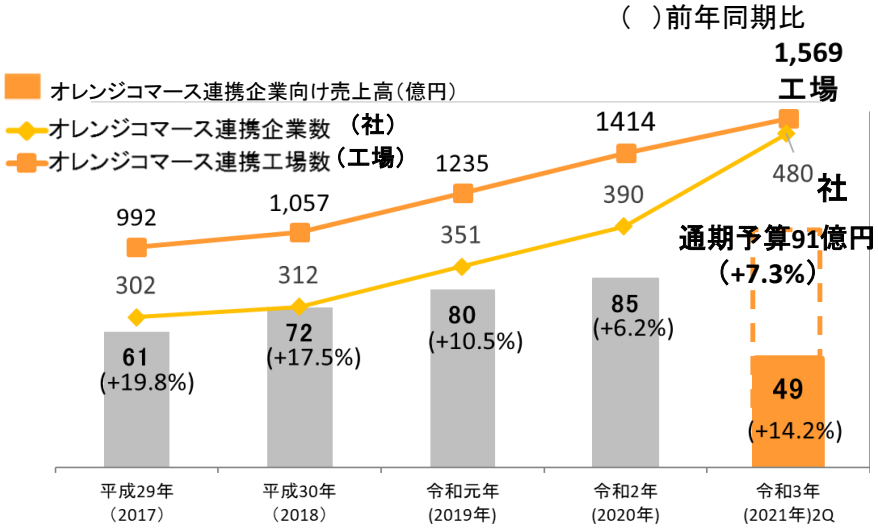
▮ 通販企業向け売上高　業種別売上高比率

令和3年(2021)12月期　第2四半期



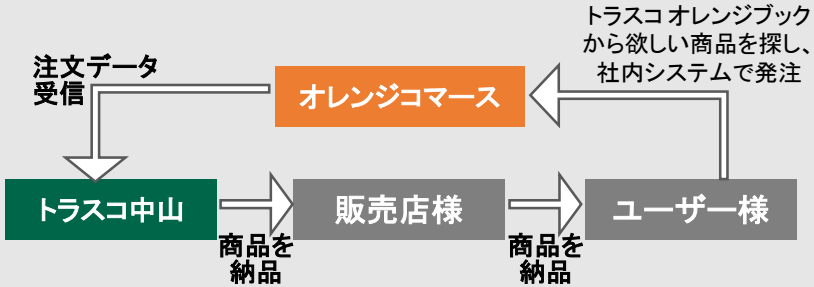
B-⑤ 【連結】オレンジコマース（電子購買）連携数

▮オレンジコマース（電子購買）売上高（億円）連携数推移



▮電子購買とは

ユーザー様が仕入原価の低減や業務の効率化を目的として、購買の一連の流れをインターネット（システム）を利用して管理する方式。大手ユーザー様を中心に利用されています。



ユーザー様の購買システムとトラスコ中山のシステムが連携し、物流は販売店様との三社間で行っています。

置き薬ならぬ置き工具

MRO STOCKER by TRUSCO

▮MROストッカーとは

当社は『がんばれ！日本のモノづくり』を企業メッセージとして掲げ、製造業・建設業などの生産現場（ユーザー）における間接材を安定して供給することを使命としています。究極の納期ゼロを実現するために、『ユーザー様の敷地内に、受注見込みのある間接材を事前に置き、使った分だけ請求させてもらう』つまり、富山の置き薬ならぬ、置き工具＝MROストッカーが、社長の中山より発案されました。

▮MROストッカーの導入について

MROストッカー導入については、得意先様を通じてユーザー様にご紹介する方法やユーザー様から当社特設WEBサイトにご依頼があり、販売店様を経由して導入する方法など経緯は様々ですが、当社からユーザー様へ直接販売はしておらず、必ず得意先様を通じて MRO ストッカーの導入を進めております。ご依頼から導入まで、大体 1 か月～ 3 か月程度です。

置き薬ならぬ置き工具「MROストッカー」の導入加速

2021年6月末時点導入企業数・・・88件

2023年までの導入目標・・・550件

B-⑥ 【連結】ホームセンタールート売上高 上位10社実績

プロツールの卸売業として、当社が得意とするプロツールの販売に特化し、ホームセンター様各社にプロツール売場の提案を積極的に行っています。
今後は、プロショップ様・資材館のあるホームセンター様との取組を強化し、当社総合力をもってご来店されるお客様へのサービス向上につなげてまいります。

▌ホームセンター得意先別売上高

単位：百万円、%

順位	得意先名	令和2年 (2020)12月期 第2四半期	令和3年 (2021)12月期 第2四半期	前年同期比
1	DCMホダカ㈱	1,032	1,240	+ 20.2
2	コーナン商事㈱	810	1,088	+ 34.3
3	㈱ナフコ	860	1,021	+ 18.7
4	DCMカーマ㈱	687	773	+ 12.5
5	ロイヤルHC㈱	666	682	+ 2.4
6	㈱カインズ	656	667	+ 1.7
7	DCMホーマック㈱	588	636	+ 8.1
8	㈱島忠	488	413	△ 15.3
9	㈱コメリ	328	398	+ 21.3
10	㈱ホームセンターバロー	254	341	+ 34.0
10社合計		6,373	7,264	+ 14.0
HCルート売上合計		8,167	8,978	+ 9.9
10社のルート売上占有率		78.0	80.9	

当社から調達いただける商品アイテム数が増加し、店舗での売り場を拡大していただいたことで、売上高が好調に推移しました。ホームセンター様は、ネットと店舗を融合させ、ご来店されるお客様へのサービスを向上させるという取組をされており、当社の在庫を便利にご利用いただいております。また、プロショップ様向けへの売上高も増加しております。

■DCM ホールディングスへの売上高

合計：3,222百万円（前年比+8.9%）
DCMホダカ㈱、DCMカーマ㈱、DCMホーマック㈱、DCMダイキ㈱、DCMサンワ㈱、DCMくろがねや㈱、㈱ケーヨー、DCM オンライン

■プロショップ様向けの売上高

合計：1,399百万円（前年比：+35.0%）
プロの職人さんや工員さんが使用する工具などに特化して商品を販売している店舗をプロショップと呼んでいます。
当社の取扱商品と親和性が高く、売上高が伸びている販売先です。

各企業名の敬称を省略しております。

©2021 TRUSCO NAKAYAMA CORPORATION All Rights Reserved

B-⑦ 海外子会社の経営成績

▮海外子会社の単体業績

令和3年（2021）12月期　第2四半期　　単位：百万円

		売上高	売上総利益	販売費及び一般管理費	営業利益	経常利益	当期（四半期）純利益
内）トラスコナカヤマ タイランド 1バーツ=3.45円（前年3.49円）	実績	364	84	70	14	14	14
	構成比	－	23.3%	19.3%	3.9%	3.9%	3.9%
	前年同期比	+15.0%	+12.8%	△7.2%	－	－	－
内）トラスコナカヤマ インドネシア 1ルピア=0.0076円（前年0.0076円）	実績	140	33	66	△32	△30	△30
	構成比	－	24.2%	47.5%	－	－	－
	前年同期比	+16.9%	+44.4%	+5.1%	－	－	－

【第59期の取り組み】

新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、タイでは非常事態宣言の再延長、インドネシアでも社会活動制限が再強化される中、課題解決による既存得意先様との取引拡大が絶対的課題であり、営業力の強化が急務であると考えております。

【参考】親会社におけるその他海外地域の売上実績

令和3年（2021）12月期　第2四半期　　単位：百万円

		売上高	売上総利益
その他海外地域への売上高実績（フィリピン、中国、韓国など）	実績	318	86
	構成比	－	27.3%
	前年同期比	＋ 46.8%	＋ 57.6%

※連結仕訳（内部取引相殺など）の影響で、連結海外ルートの売上総利益率は単体より高くなっています。

©2021 TRUSCO NAKAYAMA CORPORATION All Rights Reserved

B-⑧ 【親単体】令和3年（2021）12月期第2四半期　売上分析

▌令和3年（2021）12月期第2四半期　業績推移

（単位：百万円）

売上高　5,327百万円増加

令和2年（2020）12月期第2四半期売上高	製造業の回復等による需要増加分	設備投資の回復等による需要増加分	前年のコロナ特需による保護具減少分	その他減少分	令和3年（2021）12月期第2四半期売上高
108,367	+4,729	+1,347	△547	△202	113,694（+4.9%）

≪主な内訳≫

【製造業の回復等による消耗品需要増加分】+4,729百万円
- ハンドツール（手作業工具、電動工具）　：＋1,284百万円
- 作業用品（接着剤、テープ等）　：＋1,127百万円
- 環境安全用品（安全靴、飛沫防止パネル等）　：＋742百万円　など

【設備投資の回復による機器類需要増加分】+1,347百万円
- 物流保管用品（台車、スチール棚等）　：＋781百万円
- 工事用品（発電機、ポンプ、はしご等）　：＋565百万円　など

【前年のコロナ特需による保護具の減少分】△547百万円
- 汎用マスク　：△499百万円　など

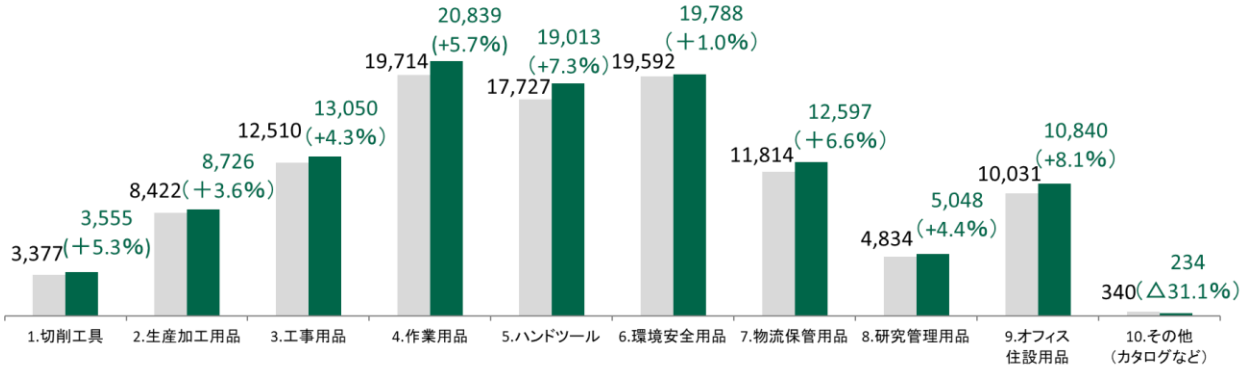
©2021 TRUSCO NAKAYAMA CORPORATION All Rights Reserved

B-⑨ 【親単体】令和3年(2021)12月期第2四半期 商品別売上分析(大分類・中分類)

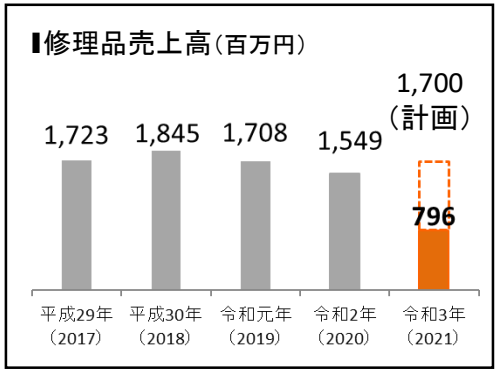
▮大分類別売上高グラフと中分類内訳

■ 令和2年(2020)第2四半期売上高(百万円)
■ 令和3年(2021)第2四半期売上高(百万円)

( )前年同期比



▮修理請負サービス "修理工房「直治郎(なおじろう)」"



構成比(%)

売上高(百万円)

商品分類(大分類)	中分類	全社売上高	構成比	前年同期比	粗利率
1.切削工具 3.1	① 切削工具	1,678	1.5	+9.5	12.2
	② 穴あけ・ネジきり工具	1,876	1.7	+1.8	22.4
2.生産加工用品 7.7	③ 測定計測	4,623	4.1	+6.2	16.1
	④ メカトロニクス	1,755	1.5	△0.1	15.6
	⑤ 工作機工具	1,073	0.9	+0.8	23.8
	⑥ 電動機械	1,273	1.1	+2.0	11.3
3.工事用品 11.5	⑦ 油圧工具	952	0.8	+0.1	11.5
	⑧ ポンプ	1,621	1.4	△1.1	16.6
	⑨ 溶接用品	1,050	0.9	+3.6	18.1
	⑩ 塗装・内装用品	1,151	1.0	△0.0	26.2
	⑪ 土木建築	1,306	1.1	+9.5	12.3
	⑫ はしご・脚立	1,493	1.3	△2.1	22.9
	⑬ 配管・電設資材	1,867	1.6	+9.4	23.3
	⑭ 部品・金物・建築資材	3,605	3.2	+8.3	27.4
4.作業用品 18.3	⑮ 切断用品	650	0.6	△2.6	15.0
	⑯ 研削・研磨用品	3,996	3.5	+17.2	32.4
	⑰ 化学製品	9,548	8.4	△3.7	14.0
	⑱ 工場雑貨	2,253	2.0	+18.4	28.6
	⑲ 梱包結束用品	2,735	2.4	+10.7	31.0
	⑳ キャスター	1,653	1.5	+22.9	31.0
5.ハンドツール 16.7	㉑ 電動工具・用品	5,476	4.8	+15.7	21.7
	㉒ 空圧工具用品	3,575	3.1	+20.8	30.4
	㉓ 手作業工具	9,010	7.9	△0.8	13.5
	㉔ 工具箱	951	0.8	△0.1	26.5
6.環境安全用品 17.4	㉕ 保護具	10,562	9.3	△4.9	24.2
	㉖ 安全用品	4,947	4.4	+9.5	25.9
	㉗ 環境改善用品	961	0.8	+6.8	20.2
	㉘ 冷暖房用品	1,799	1.6	+8.4	15.4
	㉙ 防災・防犯用品	546	0.5	+20.4	19.5
	㉚ 物置・エクステリア用品	970	0.9	+2.1	19.3
7.物流保管用品 11.1	㉛ 荷役用品	3,587	3.2	+3.9	17.6
	㉜ コンベヤ	570	0.5	+4.5	15.9
	㉝ 運搬用品	4,706	4.1	+8.2	22.9
	㉞ コンテナ・容器	1,860	1.6	+6.8	30.8
	㉟ スチール棚	1,873	1.6	+8.6	27.0
8.研究管理用品 4.5	㊱ ツールワゴン	500	0.4	+4.3	28.8
	㊲ 保管・管理用品	629	0.6	+1.7	31.9
	㊳ 作業台	813	0.7	+16.1	29.2
	㊴ ステンレス用品	941	0.8	+3.2	18.9
	㊵ 研究開発関連用品	2,163	1.9	+1.9	18.9
9.オフィス住設用品 9.5	㊶ 清掃用品	3,085	2.7	+7.0	22.0
	㊷ 文具用品	1,193	1.0	+16.1	19.2
	㊸ オフィス雑貨	1,602	1.4	+9.0	26.6
	㊹ 電化製品	1,697	1.5	+4.0	22.3
	㊺ OA事務用機器	1,114	1.0	+32.6	25.5
	㊻ 事務用家具	2,001	1.8	△1.6	24.9
	㊼ インテリア用品	145	0.1	+2.7	20.3
10.その他 0.2	㊽ 全体	234	0.2	△31.1	15.9
合計		113,694	100.0	+4.9	21.6

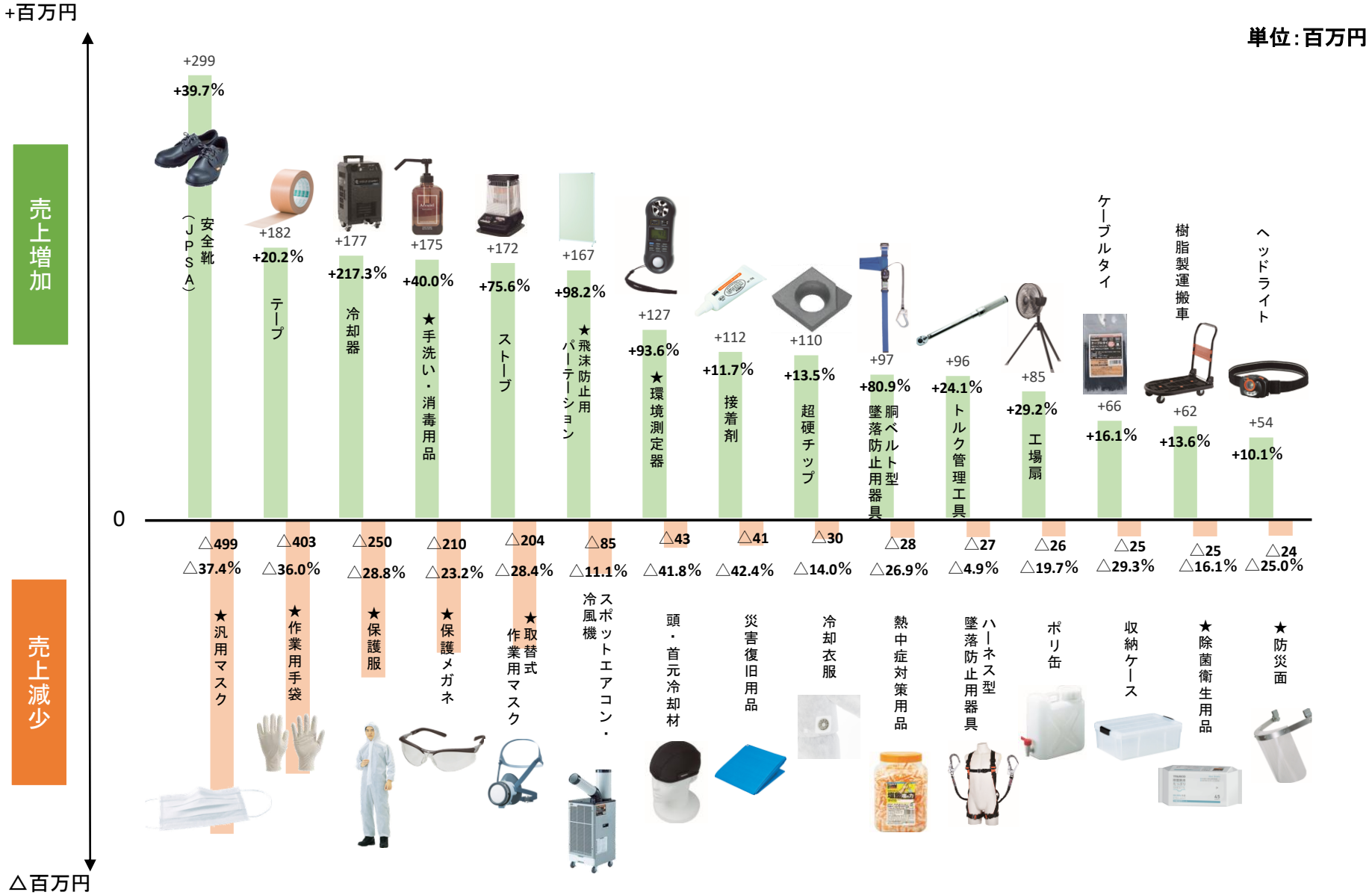
(単位:百万円、%)

©2021 TRUSCO NAKAYAMA CORPORATION All Rights Reserved

B-⑨ 【親単体】令和3年(2021)12月期第2四半期 商品別売上分析(小分類)

▌令和3年(2021)12月期第2四半期商品別増減グラフ

★:新型コロナウイルス感染症関連需要



©2021 TRUSCO NAKAYAMA CORPORATION All Rights Reserved

B-⑪　【親単体】令和3年（2021）12月期第2四半期　トラスコ オレンジブック掲載カテゴリ別実績

▌トラスコ オレンジブック掲載商品カテゴリ別売上高

商品分類別売上高をトラスコ オレンジブック掲載カテゴリ別に分類し、表記しています。

分類	売上高	前年比（%）	分類	売上高	前年比（%）	分類	売上高	前年比（%）
1.切削工具	37億93百万円	+4.8	9.手作業工具	91億13百万円	+10.0	17.搬送機器	46億42百万円	+7.1
2.工作機工具	12億74百万円	+2.7	10.電動・油圧・空圧工具	108億21百万円	+3.9	18.清掃・衛生用品	63億68百万円	+6.7
3.測定・計測用品	51億36百万円	+9.7	11.保護具	109億34百万円	△7.7	19.環境改善用品	45億98百万円	+18.2
4.メカトロ部品	15億12百万円	+0.7	12.安全用品	26億62百万円	+11.1	20.園芸用品	10億01百万円	+11.3
5.金物・建築資材	40億78百万円	+7.6	13.梱包用品	72億94百万円	+9.1	21.オフィス・住設用品	53億53百万円	+1.7
6.空圧用品	22億74百万円	+4.1	14.工事・照明用品	104億64百万円	+1.9	22.研究用品	27億79百万円	+8.4
7.電子機器	21億24百万円	+11.2	15.荷役用品	40億38百万円	+2.5			
8.化学製品	67億88百万円	+5.0	16.物流・保管用品	66億71百万円	+7.0			

●お客様の利便性を高めるツール

トラスコ オレンジブック

モノづくり現場で必要とされるあらゆるプロツールを掲載しているカタログ。紙カタログの見やすさとWEBの携帯性・検索性を融合した「トラスコ デジタルオレンジブック」も提供しています。

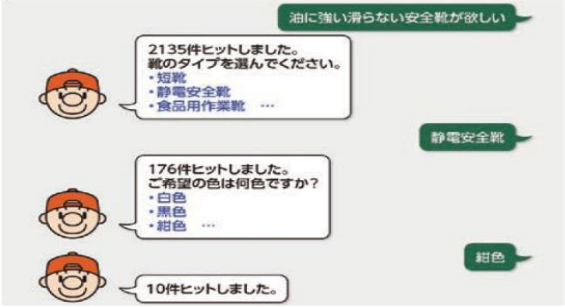
掲載商品数：約471,000アイテム（2021年版）
掲載メーカー数：1,851社
総ページ数　　：17,136ページ
年間発行部数　：190,000部
サイズ　　：A4判

トラスコ オレンジブック.Com

プロツールの商品検索や購入を目的とした総合サイト。商品見積・注文・返品が可能で、リアルタイムで在庫が確認できます。一昨年リニューアルし、検索性や利便性が更に向上しました。

公開アイテム数：約251万点
システム受注率：84.9%
商品の安全データシートや図面、含有物調査票もダウンロード可能
24時間対応

トラスコ AI オレンジレスキュー



AIの学習機能を駆使した対話型商品検索サービス。問合せに対して即時の返答が可能で、自然言語や同義語、業界特有の専門用語にも対応しています。

【特徴】
・自然言語で対応
・音声入力対応
・スマートフォンでも対応

©2021 TRUSCO NAKAYAMA CORPORATION All Rights Reserved

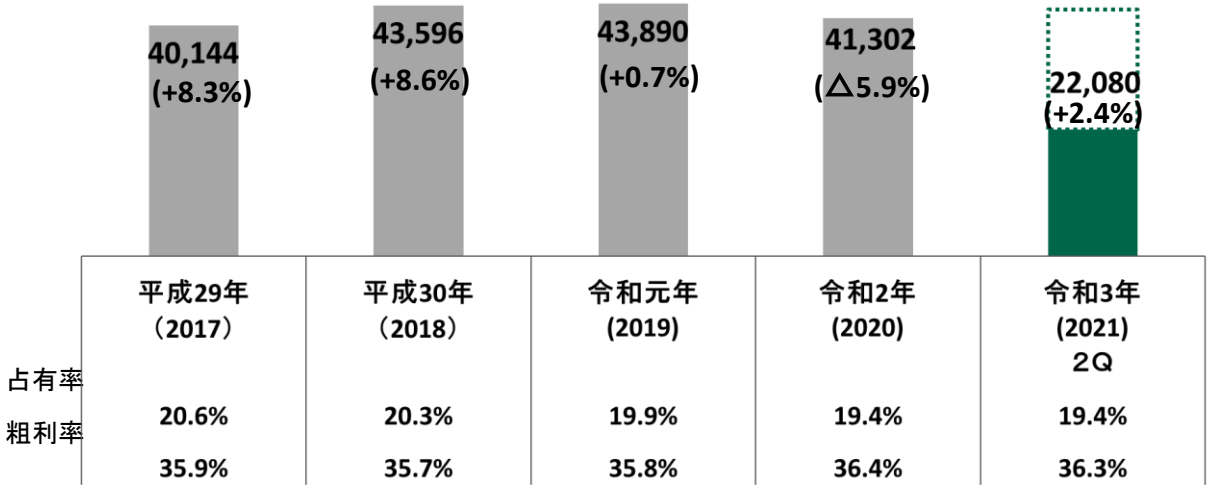
B-⑫ 【親単体】令和3年（2021）12月期第2四半期 プライベート・ブランド（PB）商品 売上高実績

プライベート・ブランド商品においても新型コロナウイルス感染症予防に関わる環境安全用品の需要が一服しました。製造業の回復もありましたが、その他の商品群に関しては前年同期比微増または微減で推移しました。

▌PB商品 売上高推移

単位：百万円（前年同期比）

通期計画：440億円



※海外ルートは除く

▌プライベート・ブランド（PB）商品

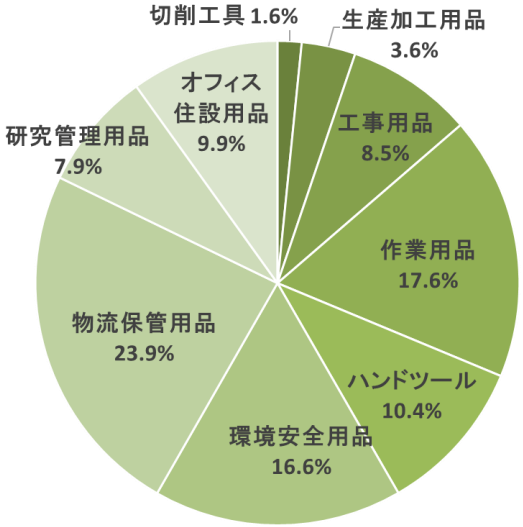
「プロフェッショナルな技に
プロフェッショナルなクオリティで応えたい」という想いから誕生した自社ブランド「TRUSCO」。工場用副資材のブランドの中で最も幅広く、毎年約10,000アイテムの新規商品を開発しています。

▌セグメント別PB商品の分類別売上高

単位：百万円

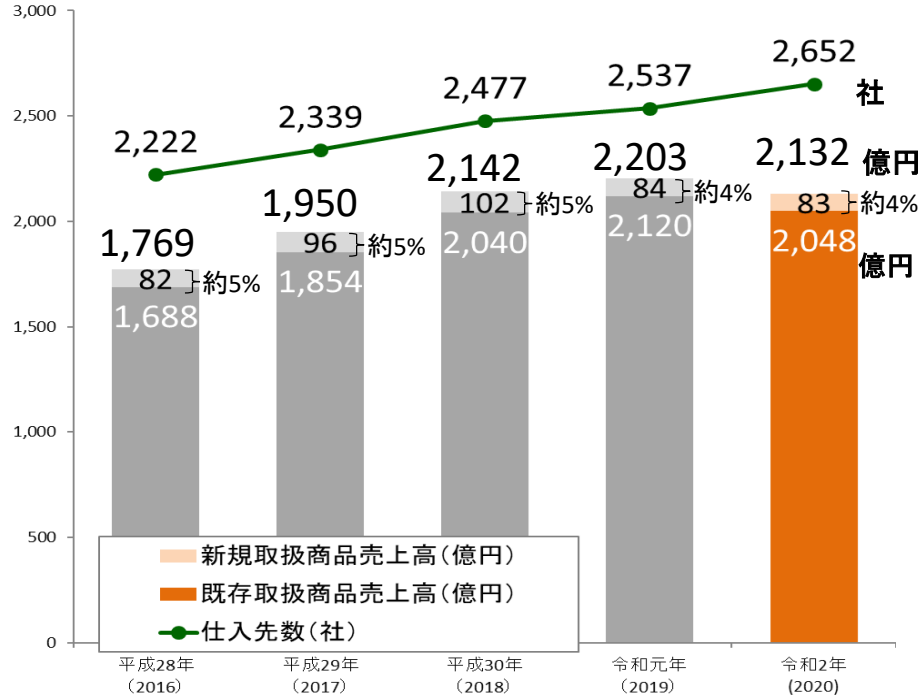
	全体		ファクトリー		eビジネス		ホームセンター	
	構成比 19.4% 粗利率 36.3%		構成比 19.7% 粗利率 36.4%		構成比 24.0% 粗利率 36.8%		構成比 5.5% 粗利率 31.2%	
	売上高	前年比	売上高	前年比	売上高	前年比	売上高	前年比
合計	**22,080**	**+2.4%**	**16,099**	**+0.9%**	**5,346**	**+8.9%**	**489**	**△9.8%**
切削工具	355	+0.6%	253	△0.3%	61	+0.8%	34	+5.5%
生産加工用品	795	+6.9%	577	+4.1%	194	+17.4%	9	△3.3%
工事用品	1,869	+4.8%	1,341	+2.0%	486	+13.0%	31	+4.0%
作業用品	3,883	+4.6%	3,061	+3.3%	755	+11.1%	41	+3.2%
ハンドツール	2,298	+5.1%	1,605	+2.3%	587	+12.6%	65	△2.0%
環境安全用品	3,667	△13.6%	2,774	△10.8%	820	△16.0%	62	△55.5%
物流保管用品	5,274	+9.0%	3,712	+6.1%	1,315	+18.6%	225	+8.1%
研究管理用品	1,747	+6.8%	1,294	+3.0%	441	+20.6%	1	△16.4%
オフィス住設用品	2,188	+6.3%	1,479	+2.3%	683	+16.0%	15	+59.9%
その他	1	△28.3%	0	+1.0%	–	–	1	△28.3%

▌PB売上構成比 令和3年（2021）12月期 第2四半期

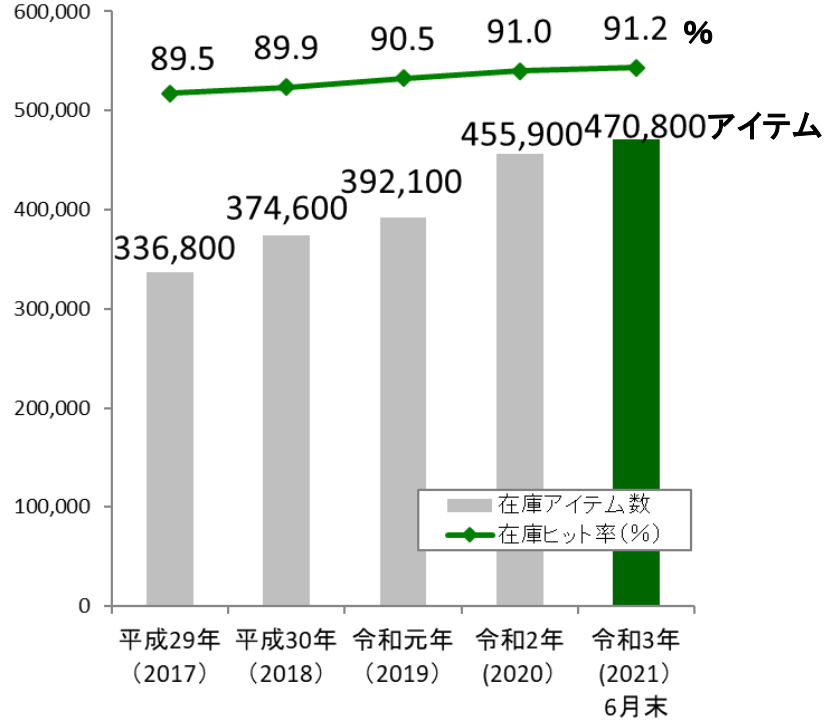


C-① 仕入先数及び新規掲載商品売上高／在庫アイテム数及びヒット率／販売口座数及び法人数

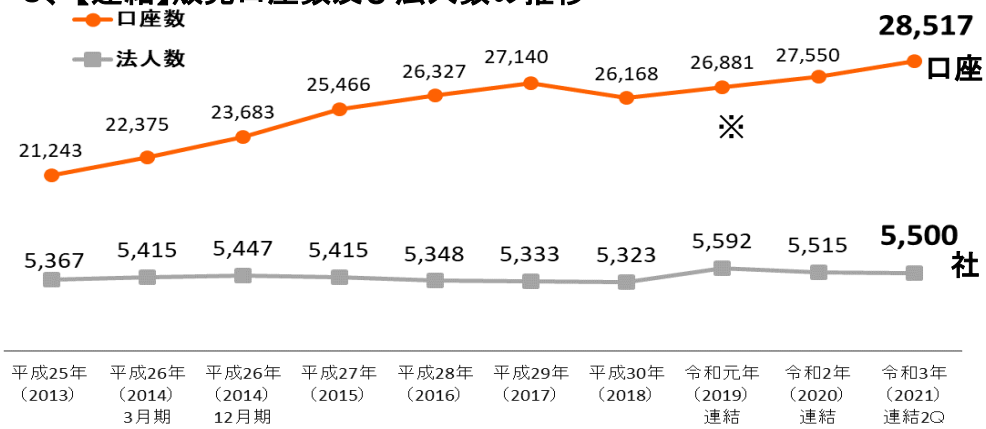
1、【親単体】仕入先数の推移及び全社売上高における トラスコ オレンジブック新規取扱商品 売上高推移



2、【親単体】在庫アイテム数及び在庫ヒット率の推移



3、【連結】販売口座数及び法人数の推移



1.売上高のうち4%程度は、その年に商品カタログ「トラスコ オレンジブック」へ新規掲載された商品の売上高で構成されています。

2.在庫ヒット率＝在庫から出荷した商品の行数÷全注文行数

3.小規模法人の廃業等により法人数は横ばいですが、多店舗を持つ法人とのお取引が増加しているため、口座数は増加傾向にあります。

※令和元年(2019)より海外子会社を含む法人数・口座数を追加しています。

©2021 TRUSCO NAKAYAMA CORPORATION All Rights Reserved

C-②　【親単体】物流データ

▮配達便・社内間配送便　台数　令和3年（2021）6月末時点

	台数	前年同期比
総配達便数	**276台**	**+3台**
傭車便（契約配達便）	159台	△11台
自社配達便	117台	+14台
社内間配送便	**31台**	**△4台**
傭車便（契約便）	27台	△8台
自社便	4台	+4台
配達便・社内間輸送便　計	**307台**	**△1台**

配達便について

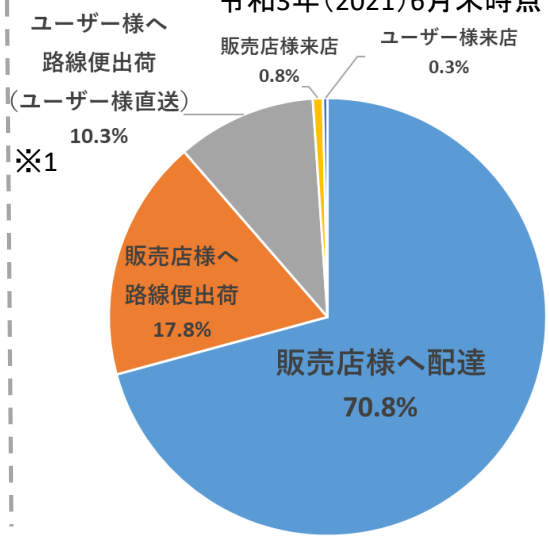
配送ルートや在庫の社内移動を効率化することで配達便・社内間配送便の見直しをすすめ、台数の適正化を図っています。

また、お客様へのサービス向上を目指し、自社配達便（当社社員による配達便）の台数を増やしています。現在の自社便率は**42.4%**で、増加傾向にあります。今後は自社便率50%まで高めていく予定です。

▮納品区分の実績

【受注行数ベース】

令和3年（2021）6月末時点



※1ユーザー様への路線便出荷については依頼された得意先様に運賃をご負担いただいております。

C-③　【親単体】システム稼働状況

▮システム受注実績

令和3年（2021）12月期第2四半期

受注実績	受注行数（行）	受注行数 前年同期比(pt)	行数占有率
トラスコ オレンジブック.Com （販売店様、ユーザー様用）インターネット受発注	7,570,302	+6.6	39.9%
トラスコEDI 販売店様発注システムとのデータ連携	4,017,318	+18.1	21.2%
オレンジコマース ユーザー様購買システムとの連携	401,437	※2　+19.1	2.1%
DOTKUL　（ドットクル） FAX-OCR	67,416	※3　△49.1	0.4%
EOS ホームセンター電子発注システム	4,046,186	+10.0	21.3%
計	16,102,659	+9.9	84.9%

当社の商品データを連携させることにより、お客様への利便性向上を図ります。システム受注率は年々増加傾向です。

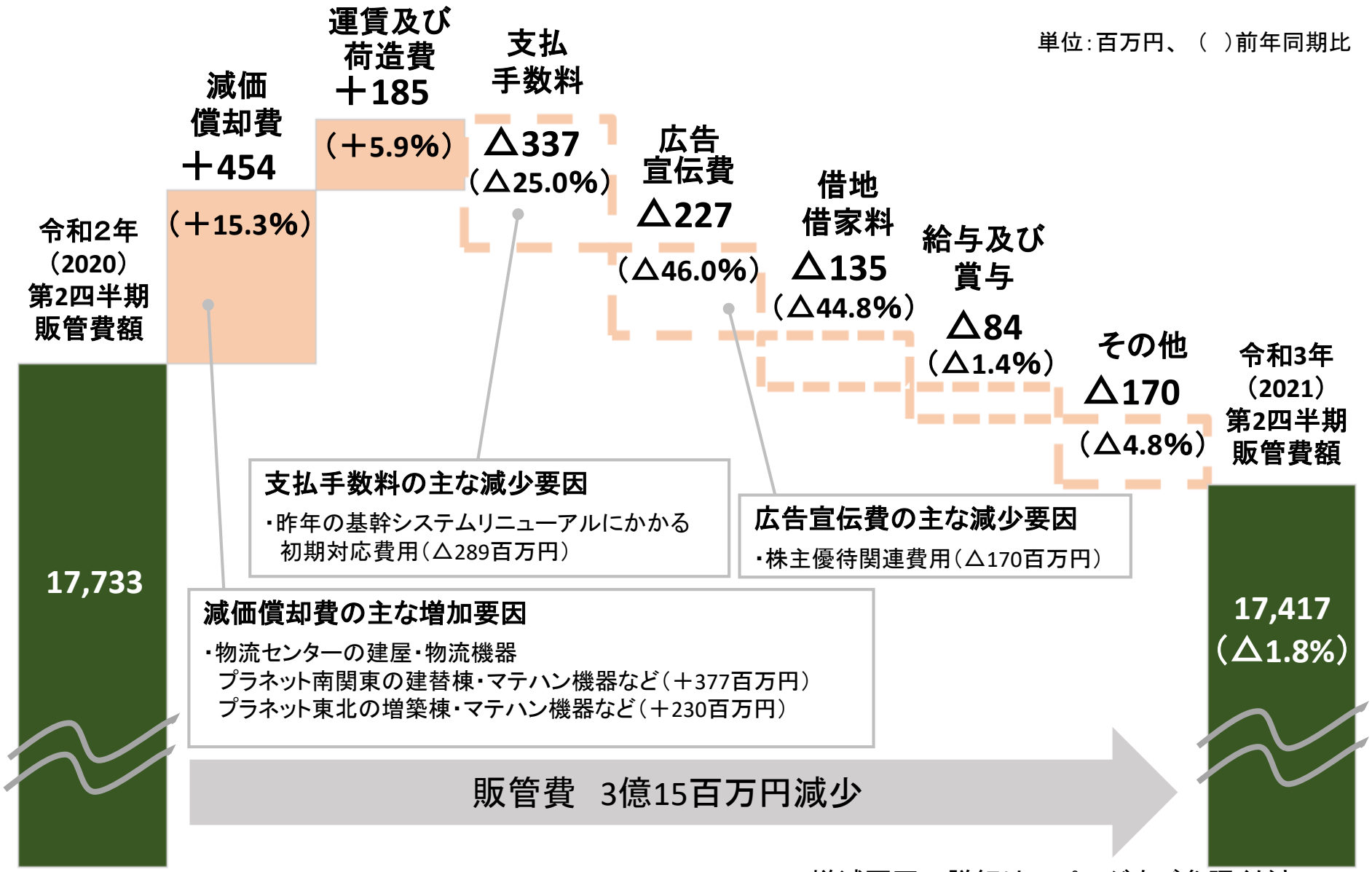
※2：ユーザー様の購買システムとの連携が進み、オレンジコマースの利用率が向上しました。

※3：FAX-OCR DOTKUL（ドットクル）は利用率の低下により2021年5月にサービスを終了しました。

©2021 TRUSCO NAKAYAMA CORPORATION All Rights Reserved

D-① 【連結】令和3年(2021)12月期　第2四半期　販売費・一般管理費の主な増減内容

単位:百万円、（　）前年同期比



増減要因の詳細は23ページをご参照ください。

©2021 TRUSCO NAKAYAMA CORPORATION All Rights Reserved

D-② 【連結】令和3年(2021)12月期　第2四半期　販売費・一般管理費

▮販売費及び一般管理費の詳細

単位:百万円、%

No.	令和２年（2020）６月期 実績	令和２年（2020）６月期 売上高構成比	**令和３年（2021）６月期 実績**	**令和３年（2021）６月期 売上高構成比**	前年増減額	前年同期比
1 給与及び賞与	5,871	5.4	**5,786**	**5.1**	△84	△ 1.4
2 減価償却費	2,962	2.7	**3,416**	**3.0**	+454	+15.3
3 運賃及び荷造費	3,168	2.9	**3,354**	**2.9**	+185	+5.9
4 福利厚生費	1,065	1.0	**1,076**	**0.9**	+11	+1.1
5 支払手数料	1,347	1.2	**1,010**	**0.9**	△337	△ 25.0
6 租税公課	765	0.7	**681**	**0.6**	△83	△ 11.0
7 賞与引当金繰入額	289	0.3	**278**	**0.2**	△10	△ 3.7
8 広告宣伝費	493	0.5	**266**	**0.2**	△227	△ 46.0
9 旅費及び交通費	245	0.2	**234**	**0.2**	△11	△ 4.6
10 消耗品費	268	0.2	**223**	**0.2**	△45	△ 16.9
11 役員報酬	218	0.2	**210**	**0.2**	△8	△ 3.7
12 通信費	189	0.2	**199**	**0.2**	+9	+4.9
13 その他	156	0.1	**181**	**0.2**	+25	+16.4
14 借地借家料	302	0.3	**167**	**0.1**	△135	△ 44.8
15 車両費	119	0.1	**137**	**0.1**	+18	+15.5
16 水道光熱費	173	0.2	**136**	**0.1**	△37	△ 21.7
17 販売促進費	82	0.1	**43**	**0.0**	△39	△ 47.4
18 交際費	12	0.0	**12**	**0.0**	+0	+5.8
計	17,733	16.4	**17,417**	**15.3**	△315	△ 1.8

【親単体】主な項目について

（　）前年同期比

・社員1,625名・パートタイマー1,204名
・社員残業代（△104百万円）
・パート給与及び賞与の増加（+42百万円）

・物流センターの建屋・物流機器
プラネット南関東の建替棟・マテハン機器など（＋377百万円）
プラネット東北の増築棟・マテハン機器など（＋230百万円）

・出荷量増加等による影響（+185百万円）
うち、ユーザー直送の増加（+103百万円）
⇒出荷個数 305万個（＋35万個）
【参考】傭車台数　159台
（前期末比△11台）、
自社社員配達便117台（前期末比+7台）

・昨年の基幹システムリニューアルにかかる初期対応費用（△289百万円）

・株主優待関連費用（△170百万円）
・60周年記念誌発刊費用（△28百万円）

・物流センターの外部倉庫解約
（△118百万円）

©2021 TRUSCO NAKAYAMA CORPORATION All Rights Reserved

D-③ 【連結】令和3年(2021)12月期 第2四半期 財務諸表

▮貸借対照表

(令和3年6月30日現在)　　(単位：百万円)

科目	金額	科目	金額
(資産の部)		(負債の部)	
流動資産	**【109,434】**	**流動負債**	**【40,593】**
現金及び預金	36,329	買掛金	17,113
売掛金	27,329	短期借入金	17,000
電子記録債権	1,390	未払金	2,383
商品	43,237	未払法人税等	2,557
その他	1,149	賞与引当金	281
貸倒引当金	△0	役員賞与引当金	66
固定資産	**【106,383】**	その他	1,191
有形固定資産	**96,055**	**固定負債**	**【37,815】**
建物及び構築物	51,055	長期借入金	35,000
機械装置及び運搬具	8,373	役員退職慰労引当金	151
工具、器具及び備品	1,983	長期預り保証金	2,662
土地	34,432	その他	1
建設仮勘定	210	**負債合計**	**78,409**
無形固定資産	**6,055**	(純資産の部)	
ソフトウエア	5,940	**株主資本**	**【137,434】**
ソフトウエア仮勘定	105	資本金	5,022
その他	9	資本剰余金	4,711
投資その他の資産	**4,272**	利益剰余金	127,779
投資有価証券	2,893	自己株式	△78
繰延税金資産	847	**その他の包括利益累計額**	**【△25】**
再評価に係る繰延税金資産	157	その他有価証券評価差額金	627
その他	383	土地再評価差額金	△357
貸倒引当金	△10	為替換算調整勘定	△296
		純資産合計	**137,408**
資産合計	**215,818**	**負債・純資産合計**	**215,818**

(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しています。

▮キャッシュ・フロー計算書

単位：百万円

	令和2年(2020年) 第2四半期	令和3年(2021年) 第2四半期	増減
営業活動によるキャッシュ・フロー	5,796	8,349	+2,553
投資活動によるキャッシュ・フロー	Δ6,738	Δ3,467	+3,271
財務活動によるキャッシュ・フロー	8,812	Δ924	Δ9,736
現金及び現金同等物に係る換算差額	Δ18	9	+27
現金及び現金同等物の増減額(Δは減少)	7,851	3,967	Δ3,884
現金及び現金同等物の期首残高	18,330	32,344	+14,014
現金及び現金同等物の期末残高	26,181	36,311	+10,129

自己資本比率：63．7%

貸借対照表について

①在庫金額

取扱商品アイテム数を強化しつつ、1品目当たりの在庫数においては、商品の地域特性や販売頻度を考慮し、全国の物流センターにおいて在庫の適正数量への見直しを行っています。

②固定資産

当社では、「持つ経営」を実践しており、事業の根幹を支える物流センター、本社ビル、支店、データセンター、自社配達便のトラック、営業車などを自社所有しています。

©2021 TRUSCO NAKAYAMA CORPORATION All Rights Reserved

D-④ 【連結】令和3年(2021)12月期　第2四半期　設備投資等の状況

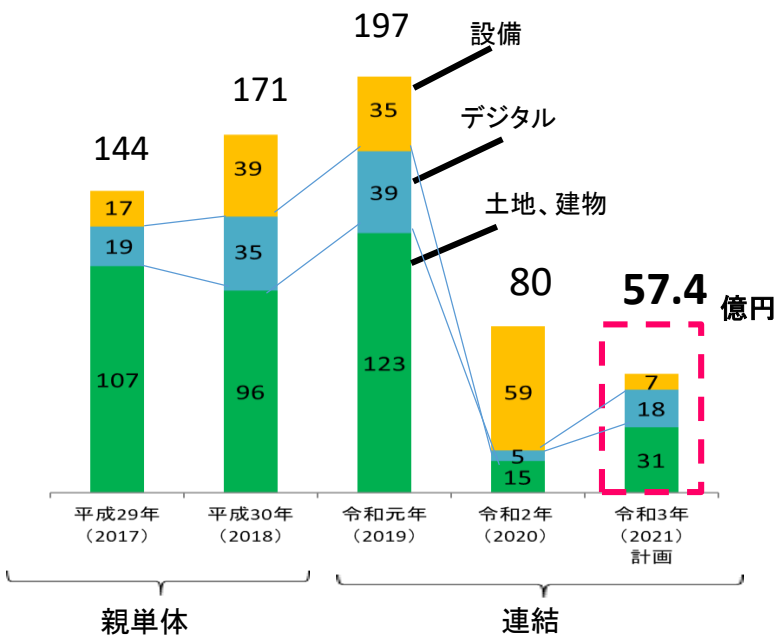
▮主な設備投資の実績と予定

59期投資計画:57.4億円

令和3年(2021)　主な設備投資　内訳　(単位:百万円)			上期累計投資実績	下期投資予定額
建物	プラネット大阪　倉庫新築工事、プラネット東関東　増築工事、各社屋修繕工事　等		533	759
物流設備	プラネット埼玉	I-Pack®(アイパック)、AutoStore(オートストア)へのピッキングロボット導入　等	264	479
	その他	新型ハンディターミナル導入、各種機器増設　等		
システム	商品データベースSterra(ステラ)リニューアル、ネットワーク・セキュリティ関連改修		126	1,768
	AI開発、ホームページリニューアル　等			
土地	プラネット愛知　新築計画、HC東日本物流センター　移転計画		1,411	400
小計			2,334	3,406
年間設備投資額			5,740	

▮設備投資額の推移

単位:億円



設備投資額に関して

・設備投資予定額には、計画中のものも含まれている
　為、投資金額は変動する場合がございます。
・第59期はキャッシュアウトベースの金額にて記載しております。

令和3年(2021)12月期の減価償却費は
70億円(前年比＋5億円)を予定しております。

©2021 TRUSCO NAKAYAMA CORPORATION All Rights Reserved

E-① 今期の計画

◆予算策定について

予算は「全国の支店長が策定した支店年間予算」の合計を全社予算として採用しています。マーケットを熟知した支店長が、人員配置を含めた戦略を練り実行し、自身が最終責任をとるという意味で予算策定をしています。予算策定時はコロナの状況が不透明であり、やや控えめな予算でしたが、市況の回復が見られたため、令和3年3月15日に通期予算の上方修正を行いました。（連結予算2,205億円⇒2,275億円へ修正）

	第58期（2020年12月期）						【修正後計画】第59期（2021年12月期）							【当初計画】第59期（2021年12月期）			
	（連結）			（単体）			（連結）					（単体）		（連結）		（単体）	
	実績	前期差額	前期比	実績	前期差額	前期比	計画値	当初予算差額	当初予算比	前期差額	前期比	計画値	前期比	計画値	前期比	計画値	前期比
	（百万円）	（百万円）	（%）	（百万円）	（百万円）	（%）	（百万円）	（百万円）	（%）	（百万円）	（%）	（百万円）	（%）	（百万円）	（%）	（百万円）	（%）
売　上　高	213,404	▲7,270	96.7	213,205	▲7,151	96.8	227,520	+7,000	103.2	+14,115	106.6	227,000	106.5	220,520	103.3	220,000	103.2
1日当たり売上高	－	－	－	892	▲45	95.1	－	－	－	－	－	945	106.0	－	－	916	102.8
PB商品売上高	－	－	－	41,302	▲2,588	94.1	－	－	－	－	－	44,000	106.5	－	－	42,892	103.9
実働稼動日数	－	－	－	239日	+4日	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	240日	－
売 上 総 利 益	45,909	▲1,124	97.6	45,733	▲1,123	97.6	48,960	+1,240	102.6	+3,050	106.6	48,700	106.5	47,720	103.9	47,460	103.8
売 上 総 利 益 率（%）	21.5%	+0.2pt	－	21.5%	+0.2pt	－	21.5%	△0.1pt	－	±0.0pt	－	21.5%	－	21.6%	－	21.6%	－
販売費及び一般管理費	34,891	+1,654	105.0	34,630	+1,695	105.1	35,790	+540	101.5	+898	102.6	35,500	102.5	35,250	101.0	34,960	101.0
営 業 利 益	11,017	▲2,779	79.9	11,102	▲2,818	79.8	13,170	+700	105.6	+2,152	119.5	13,200	118.9	12,470	113.2	12,500	112.6
経 常 利 益	11,559	▲2,638	81.4	11,635	▲2,667	81.3	13,820	+940	107.3	+2,260	119.6	13,840	118.9	12,880	111.4	12,900	110.9
当 期 純 利 益	8,007	▲1,606	83.3	8,085	▲1,629	83.2	9,520	+650	107.3	+1,512	118.9	9,550	118.1	8,870	110.8	8,900	110.1
1株当たり当期純利益	121円43銭	▲24円35銭	－	122円62銭	▲24円70銭	－	144円37銭	+9円86銭	－	+22円94銭	－	144円82銭	+22円20銭	134円51銭	+13円08銭	134円96銭	+12円34銭
1株当たり配当金	30円50銭	▲6円00銭	－	－	－	－	36円50銭	+2円50銭	－	+6円00銭	－	－	－	34円00銭	+3円50銭	－	－

この経営計画は本資料作成時点での当社の判断であり、その情報の正確性を保証するものではありません。様々な要因の変化により、実際の業績や結果とは異なる可能性があります。

©2021 TRUSCO NAKAYAMA CORPORATION All Rights Reserved

E-② 第59期 主な設備投資・トピックス

TRUSCO

問屋による「ユーザー様直送」という環境保全
納期・梱包資材・配送運賃・環境負荷半減

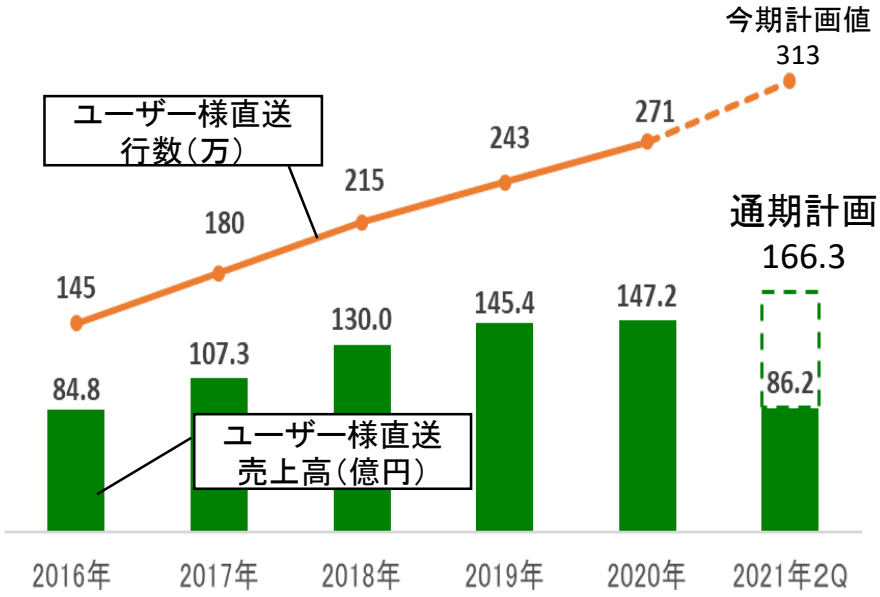
通販企業様による商品調達がモノづくり現場で浸透するにつれ、ユーザー様直送の依頼が急激に増加しています。
通販企業様各社とのお取り組みの伸長や業界全体の人手不足、ユーザー様からの納期短縮要請などを鑑みると、今後もユーザー直送件数が増え続けるのは確実であり、直送体制の強化が必須と考えています。

▮出庫能力：720cs/h（ 1 ライン）、約24人分
導入センター：プラネット東北、埼玉、東海、大阪
（プラネット埼玉：2ライン、その他各1ライン　計5ライン）

▮全国の物流センターからのユーザー様直送

ユーザー様直送行数　162万行　（前年同期比　+15.0%）

ユーザー様直送売上高　86.2億円　（前年同期比　+20.0%）



今後の具体的な取り組み

▮プラネット埼玉　I-Pack（高速自動梱包出荷ライン）出荷能力の最大値の引き上げ

今期投資予定額：約2.7億円

	設備数		能力	
設備名	現在	今後	現在	今後
① I-Packライン	2ライン	3ライン (+1)	1日当たり 8,000箱投入	1日当たり 15,200箱投入
② I-Pack用GAS	2台	6台 (+4)		
③ I-Pack作業場	10か所	19か所 (+9)		
④方面仕分け ロボット	–	1基(+1)	-	1時間当たり 300仕分け

各地での物流センター用地取得

1．プラネット愛知

▮所在地　：愛知県北名古屋市
（北名古屋沖村西部土地区画整理事業地）
▮敷地面積：12,595坪
▮今期投資金額：約14.1億円　▮総投資額：約250億円（計画中）
▮借地料：月額約570万円

2．HC東日本物流センター

▮所在地　：新潟県三条市福島新田　▮敷地面積：7,986坪
▮今期投資金額：約3.8億円　▮総投資額：未定（計画中）

©2021 TRUSCO NAKAYAMA CORPORATION All Rights Reserved

参考資料①ー株式情報

▌株主情報

単位：名

	平成30年（2018）12月末	令和元年（2019）6月末	令和元年（2019）12月末	令和2年（2020）6月末	令和2年（2020）12月末	令和3年（2021）6月末
株主合計	**29,997**	**19,776**	**40,106**	**23,697**	**16,336**	**14,903**
単元株主	29,408	19,054	39,494	22,887	15,514	14,030
単元未満株主	588	721	611	809	821	872
自己名義株式	1	1	1	1	1	1
金融機関・証券会社	63	73	61	64	65	69
国内法人	657	563	690	574	553	544
外国法人等	228	210	252	210	201	203
個人その他	29,048	18,929	39,102	22,848	15,516	14,086
自己名義株式	1	1	1	1	1	1

▌株主優待制度の廃止について

（令和2年8月21日発表）

当社では、株主様への感謝と、より多くの方々に当社株式を保有いただくことを目的に株主優待制度を平成6年度に導入し、以来、株主様数は順調に増加し、第58期（2020）末には約5万名になることが予想されました。

その一方で株主様優待商品の費用が第57期（2019）は約1億8千万円と、年々増加傾向にありました。

当社ではモノづくり現場でのニーズにお応えするため、今後も物流設備や情報システム（デジタル）への投資が必要であることから株主優待制度を見直し、さらなる成長のための投資につなげることといたしました。

尚、配当性向は25%を維持します。

▌ROE推移

単位：%

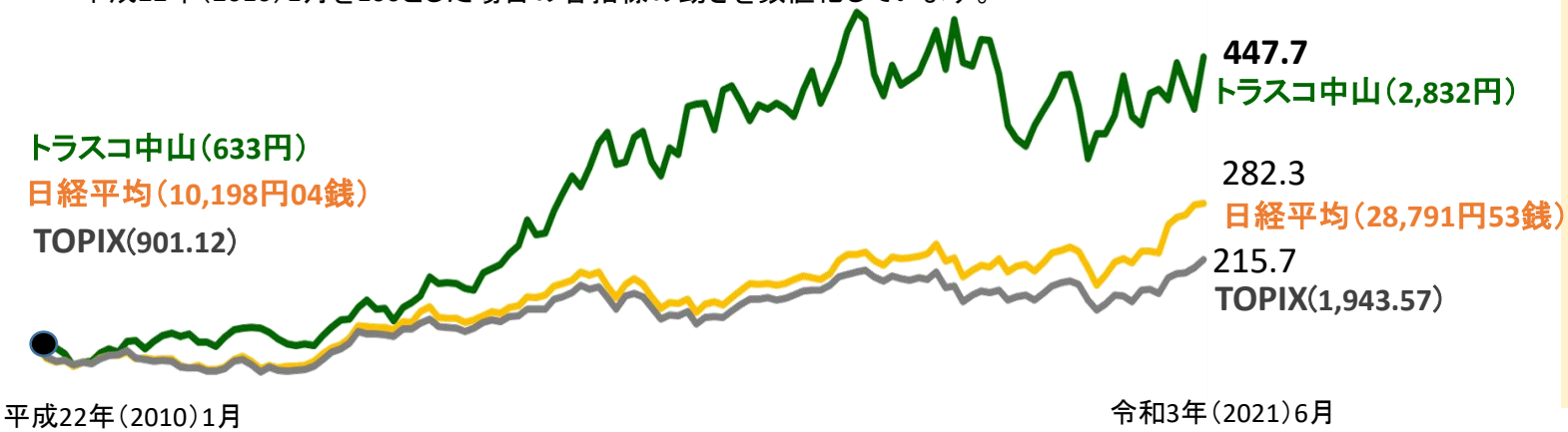
	平成28年（2016）	平成29年（2017）	平成30年（2018）	令和元年（2019）	令和2年（2020）
ROE	9.8	9.3	8.3	7.5	6.1

＜ROEに対する考え方＞

当社では、企業価値向上のための継続的な投資をすることで利益を拡大し、長期的かつ安定的に上昇させることが重要だと考えています。お客様の利便性向上を大切にし、事業の結果としてROEが高まるというのが本来の姿であると考えています。

▌株価指数の推移

平成22年（2010）1月を100とした場合の各指標の動きを数値化しています。



2021年8月2日（水）

当社株価　終値
2,972円

日経平均株価　終値
27,283円59銭

TOPIX
1,901.08

©2021 TRUSCO NAKAYAMA CORPORATION All Rights Reserved

参考資料②ー業界での指数比較

▮同業界の商社、直販企業（上場企業）の　業績

機械工具業界の商社には下記のような企業がありますが、卸売業・小売業で事業展開が異なり、それぞれ取扱う主力商品も異なっています。
当社は工作機械などの大型機械の取扱いは無く、消耗品の取扱いが中心です。

単位：百万円、%、敬称略

卸売

	決算月	令和2年（2020年）-実績- 売上高	前年比	時価総額（億円）
㈱山善	3月	434,744	△ 7.9	994
ユアサ商事㈱	3月	432,185	△ 12.0	729
㈱日伝	3月	102,751	△ 8.5	713
フルサト工業㈱	3月	89,478	△ 14.5	290
㈱NaITO	2月	39,145	△ 15.8	96
杉本商事㈱	3月	40,365	△ 8.0	265
トラスコ中山㈱	12月	213,404	△ 3.3	1,921

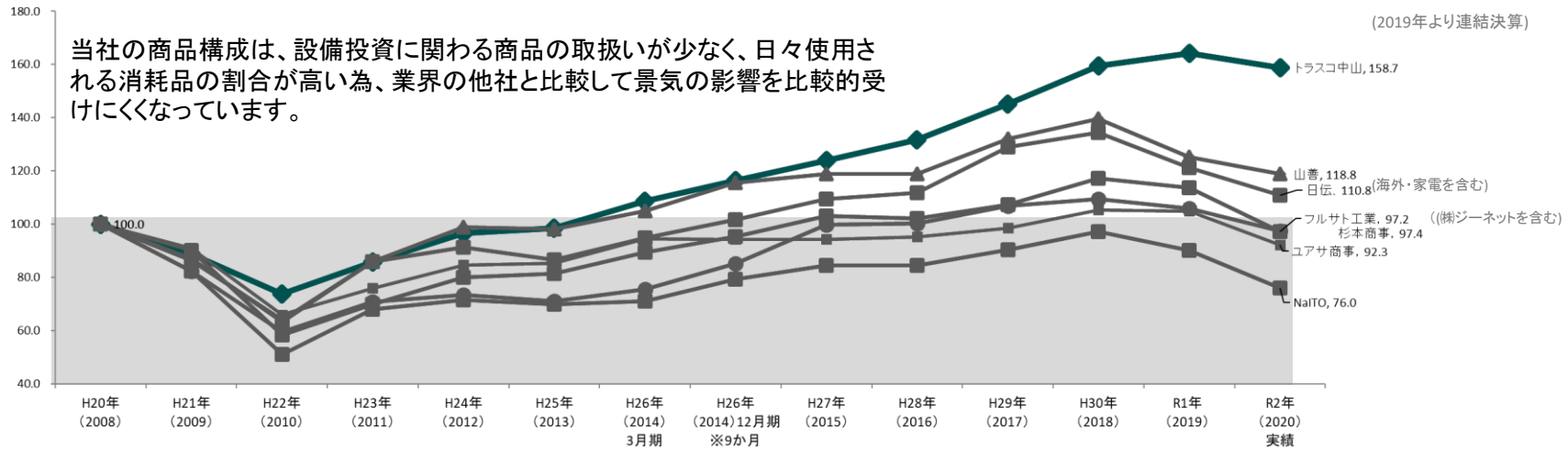
単位：百万円、%、敬称略

小売

	決算月	令和2年（2020）-実績- 売上高	前年比	時価総額（億円）
㈱ミスミグループ	3月	310,719	△ 0.8	11,100
㈱MonotaRO	12月	157,337	＋ 19.7	13,100

※連結決算を発表している会社は連結決算の数値を記載しています。
※各数値は令和3年（2021）4月28日時点で公表されている実績及び予想を記載しています。

▮同業界の商社との売上高指数比較　（%）



※指数基準：平成20年(2008)を100としています。平成20年3月期は当社売上高1,344億円とリーマンショック前の過去最高額を記録した年です。
※令和2年（2021）8月6日現在公開のデータをもとに経営企画・広報IR課にて算出した数値です。
※平成26年12月期のトラスコ中山指数は、決算期変更により9か月の変則決算であったため、12か月に換算した売上高1,563億円をもとに計算した参考値です。

©2021 TRUSCO NAKAYAMA CORPORATION All Rights Reserved

▌令和3年（2021）12月期 第2四半期【四半期ごと】

単位：百万円、%

		第1四半期（+1日）			第2四半期（±0日）			第3四半期（±0日）			第4四半期（±0日）		
		予算	構成比	前年同期比	予算	構成比	前年同期比	予算	構成比	前年同期比	予算	構成比	前年同期比
売上高	予算	58,121	100.0	+1.1	55,949	100.0	+ 9.9	54,981	100.0	+ 9.2	58,469	100.0	+ 7.0
	実績	58,246	100.0	+1.3	55,642	100.0	+ 9.3						
売上総利益	予算	12,516	21.5	△0.3	12,474	22.3	+ 10.0	11,664	21.2	+ 10.1	12,306	21.0	+ 7.8
	実績	12,543	21.5	△0.1	12,099	21.7	+ 6.7						
販売費及び一般管理費	予算	8,811	15.2	△4.4	8,899	15.9	+ 4.5	8,790	16.0	+ 2.0	9,290	15.9	+ 8.8
	実績	8,752	15.0	△5.1	8,664	15.6	+ 1.8						
営業利益	予算	3,705	6.4	+11.0	3,575	6.4	+ 26.6	2,874	5.2	+ 45.4	3,016	5.2	+ 4.7
	実績	3,790	6.5	+13.6	3,434	6.2	+ 21.6						
経常利益	予算	3,943	6.8	+16.5	3,807	6.8	+ 26.3	2,958	5.4	+ 43.7	3,112	5.3	+ 0.4
	実績	3,995	6.9	+18.0	3,695	6.6	+22.6						
親会社株主に帰属する四半期/当期純利益	予算	2,725	4.7	+17.4	2,615	4.7	+ 29.9	2,034	3.7	+ 47.3	2,146	3.7	△ 6.4
	実績	2,712	4.7	+16.9	2,524	4.5	+ 25.4						

©2021 TRUSCO NAKAYAMA CORPORATION All Rights Reserved

▮令和3年（2021）12月期【累計】

単位：百万円、%

		第1四半期（＋1日）			第2四半期（±0日）			第3四半期（±0日）			第4四半期（±0日）		
		予算	構成比	前年同期比	予算	構成比	前年同期比	予算	構成比	前年同期比	予算	構成比	前年比
売上高	予算	58,121	100.0	+1.1	114,070	100.0	+5.2	169,051	100.0	+ 6.5	227,520	100.0	+ 6.6
	実績	58,246	100.0	+1.3	113,888	100.0	+5.1						
売上総利益	予算	12,516	21.5	△0.3	24,990	21.9	+4.6	36,654	21.7	+ 6.3	48,960	21.5	+ 6.6
	実績	12,543	21.5	△0.1	24,643	21.6	+3.1						
販売費及び一般管理費	予算	8,811	15.2	△4.4	17,710	15.5	△0.1	26,500	15.7	+ 0.6	35,790	15.7	+ 2.6
	実績	8,752	15.0	△5.1	17,417	15.3	△1.8						
営業利益	予算	3,705	6.4	+11.0	7,280	6.4	+18.2	10,154	6.0	+ 24.8	13,170	5.8	+ 19.5
	実績	3,790	6.5	+13.6	7,225	6.3	+17.3						
経常利益	予算	3,943	6.8	+16.5	7,750	6.8	+21.1	10,708	6.3	+ 26.6	13,820	6.1	+ 19.6
	実績	3,995	6.9	+18.0	7,691	6.8	+20.2						
親会社株主に帰属する四半期/当期純利益	予算	2,725	4.7	+17.4	5,340	4.7	+23.2	7,374	4.4	+ 29.0	9,520	4.2	+ 18.9
	実績	2,712	4.7	+16.9	5,237	4.6	+20.8						

©2021 TRUSCO NAKAYAMA CORPORATION All Rights Reserved

参考資料⑤－会社データ

▌社員数【連結】 令和3年（2021）6月末現在　　単位：名

	女	男	合計	前年同月比
役員	1	10	11	△1
執行役員	0	2	2	±0
キャリア	173	435	608	△31
エリア	278	301	579	+8
サポート	24	2	26	△4
スペシャリスト	15	12	27	△3
ロジス	82	269	351	△1
契約社員	1	32	33	△3
現地法人	18	24	42	±0
健康保険組合出向者	2	0	2	±0
中山財団出向者	0	0	0	±0
社員計	593	1,077	1,670	△34
パート	888	316	1,204	+79
従業員計	1,482	1,403	2,885	+44

女性社員比率35.5%／女性セールス60人／
女性キャリア比率29.1%（男性40.3%）　※パートタイマーの人数は実際の雇用人数

▌平均年齢・年収

	平均年齢（歳）			平均年収（万円）			
	女	男	全体	キャリア	エリア	ロジス	全体
令和2年（2020）	32.1	41.9	38.4	721	601	461	619
令和元年（2019）	31.3	42.0	38.2	758	642	492	655
平成30年（2018）	30.9	42.1	38.2	804	680	520	701
平成29年（2017）	30.7	42.7	38.6	805	696	541	715
平成28年（2016）	30.6	43.5	39.3	757	651	519	674

※全体平均年収は執行役員を含み、退職金「ファイナンシャルボンド」を除く金額
※平成26年度より業績連動型賞与を支給開始。令和元年（2019）より業績連動型賞与中止のため減額。
※令和元年（2019）12月期より連結決算開始のため、令和元年（2019）12月期より平均年齢は連結、平均年収は全て単体のデータ。

▌入社者数および退職者数　※ パートタイマー除く

	平成29年（2017）【親単体】		平成30年（2018）【親単体】		令和元年（2019）【連結】		令和2年（2020）【連結】		令和3年（2021）6月末【連結】	
	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男
社員数（名）	510	1004	557	1,051	585	1,071	589	1085	593	1077
	1,514		1,608		1,656		1,674		1,670	
入社者（名）	59	67	63	72	52	57	41	46	23	21
	126		135		109		87		44	
退職者（名）	18	18	20	26	42	44	37	33	19	24
	36		46		86		70		43	
離職率（%）	3.4	1.8	3.5	2.4	6.7	3.9	5.9	3.0	3.1	2.2
	2.3		2.8		4.9		4.0		2.5	

▌拠点数【連結】 令和3年（2021）6月末現在

本社	2か所
支店	61か所
物流センター	17か所
海外拠点	3か所
ストックセンター	9か所
合計	92か所

▌倒産による回収不能金額

	平成29年（2017）	平成30年（2018）	令和元年（2019）	令和2年（2020）	令和3年（2021）2Q
回収不能金額（万円）	0	4	0	0	275

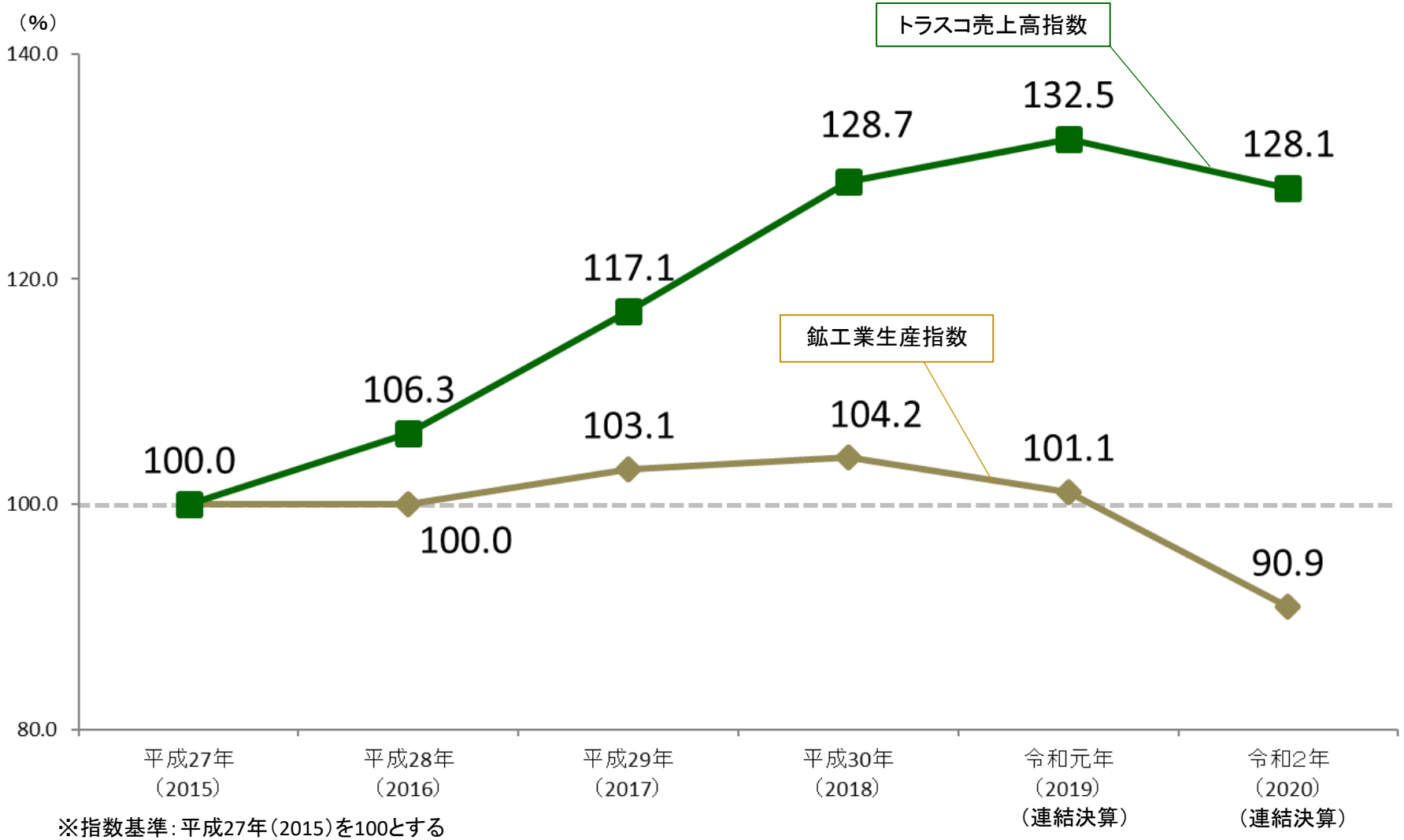
▌在庫廃棄金額及び在庫金額の推移

	平成28年（2016）	平成29年（2017）	平成30年（2018）	令和元年（2019）	令和2年（2020）
廃棄金額（百万円）	32	41	39	42	50
在庫金額（億円）	290	318	370	427	406
廃棄率（%）	0.11	0.13	0.11	0.10	0.12

©2021 TRUSCO NAKAYAMA CORPORATION All Rights Reserved

参考資料⑥ー当社売上高指数・鉱工業生産指数

▌当社売上高指数及び鉱工業生産指数の推移



※指数基準：平成27年（2015）を100とする
※鉱工業生産指数は令和3年（2021）1月29日に経済産業省より公表された数値

©2021 TRUSCO NAKAYAMA CORPORATION All Rights Reserved

6月15日　産学連携及び資本業務提携についての記者発表を開催

6月15日（火）国立大学法人東海大学機構名古屋大学と産学連携及び、物流DXに強みを持つGROUND株式会社、独自のAI活用に強みを持つ株式会社シナモンと資本業務提携についての合同記者発表を行いました。新たな流通プラットフォームを構築することにより今後、AIやロボット活用をはじめとするデジタルトランスフォーメーションの一層の加速（トラスコDX2.0）を図ってまいります。当日はコロナウイルス感染症対策を徹底して実施し、約20社のメディア関連企業様にご参加いただき、日本経済新聞社様をはじめ様々な媒体に取り上げられました。

左より、名古屋大学 松尾総長様、（株）シナモン 平野社長様、社長 中山、GROUND（株） 宮田社長様

業界「最速」「最短」「最良」の納品を実現、「ベストなものが、もうそこにある」を目指す

お客様の利便性向上のため、「ありたい姿」について解説しました。その実現のために、急激な変化の中で信頼するパートナーが必要となり、今回の資本業務提携、包括連携協定に至った経緯を伝えました。
「業界『最速』『最短』『最良』の納品を実現し、『ベストなものが、もうそこにある』をキャッチフレーズに、サプライヤーとしての進化に取り組んでいきたい」と締めくくりました。

～ありたい姿～

①2023年までに在庫50万アイテムを保有できる企業になりたい。
（2030年までには100万アイテムを目標）
②1日24時間受注、1年365日出荷できる企業になりたい。
③欠品、誤受注、誤出荷のない企業になりたい。
④棚卸作業のない企業になりたい。（2020年末時点 棚卸差異率： 0.006％）
⑤問屋であってもユーザー直送出荷をストレスなくできる企業になりたい。
⑥お見積りに瞬時にお応えできる企業になりたい。（AI見積「即答名人」2020年1月より稼働中 2021年6月末時点の見積自動回答率：18.3％）
⑦業界「最速」「最短」「最良」の納品を実現できる会社になりたい。
⑧可能な限り環境負担の小さい企業になりたい。
⑨リサイクル、リユース、リターナブルにも積極的な企業になりたい。
（修理工房「直治郎（なおじろう）」 2020年度実績：15億49百万円）
⑩日本のモノづくりを支えるプラットフォーマーになりたい。
⑪業界の常識、習慣、定説、定石を塗り替えることのできる企業になりたい。

©2021 TRUSCO NAKAYAMA CORPORATION All Rights Reserved

参考資料⑧－令和3年（2021） 12月期 第2四半期トピックス（2）

5月2日　TBS番組「がっちりマンデー！！」出演

5月2日に放送された『応援!日本経済 がっちりマンデー!!～日曜に勉強!月曜から実践!～』（TBSテレビ、毎週日曜 朝7:30～8:00）で当社が紹介されました。出演回のテーマは「受賞しているけど知らない会社」で当社は2018年度「ポーター賞」受賞企業として紹介されました。当社の在庫に関する考え方や物流センター「プラネット埼玉」、置き薬ならぬ置き工具「MROストッカー」についての取材をしていただきました。放送回の視聴率は10%で、放送後には「MROストッカー」のお問合せも多くいただいております。

社長 中山と2021年度新入社員で「がっちり!!」

5月21日　「2021日本BtoB広告賞」銀賞を受賞

当社が発刊する「ココミテVOL.3」が第42回「2021BtoB広告賞」銀賞を受賞しました。「BtoB広告賞」はBtoB広告の普及・振興をはかるために1980年から開催されているコンテストです。今年は全13部門、合計314点の応募があり、その中から製品カタログ＜総合＞の部で銀賞を受賞しました。業界から誤発注をなくすことで貢献していきたい！という想いから発刊にいたりました。

【ココミテVOL. 3の特徴】
①338の商品カテゴリーを追究し取扱品目の拡大
②薄紙を採用し、より手に取りやすいサイズを実現（B5サイズ）
③学びのポイントを整理し、実務に即した疑問が解消できるチェックシートを追加

6月7日　「DX銘柄2021」に選定

経済産業省と東京証券取引所より「DX銘柄2021」に選定されました。単に優れた情報システムの導入、データの利活用をするにとどまらず、デジタル技術を前提としたビジネスモデルそのものの変革及び経営の変革に果敢にチャレンジし続けている企業として認定され、デジタル技術を最大限に活用した活躍が期待されてます。当社は2020年に続き2年連続の受賞となります。
当社はDXを目的にするのではなく、当社らしさあふれるデジタル活用で、“明るく・元気な社風と社員を醸成し”社員一人一人が誇りを持ち、社会的価値を生む企業を目指しています。

「DX銘柄」とは

東京証券取引所に上場している企業の中から、企業価値の向上につながるDXを推進するための仕組みを社内に構築し、優れたデジタル活用の実績が表れている企業を、業種ごとに最大1～2社ずつ選定して紹介するものです。

DX銘柄2021
Digital Transformation

日本経済新聞朝刊全面広告掲載（令和3年7月28日）

日本経済新聞に掲載された2021年のDX銘柄特集にて、当社が全面広告を出しました。『問屋による「ユーザー様直送」という環境保全』というキャッチフレーズで環境負荷が少ない「ユーザー様直送」を実現するには物流DXが不可欠である、という想いを込めました。

日本経済新聞
2021年7月28日（火）朝刊　28ページ

©2021 TRUSCO NAKAYAMA CORPORATION All Rights Reserved